

2024年度 第2四半期（中間期）

# 決算資料

Consolidated Financial Results

2024年11月8日

株式会社 **TBS** ホールディングス

# 目次

—

2024年度 第2四半期（中間期）決算ハイライト

2024年度 業績見通し

株主還元

経営計画の進捗

今後の重点施策

参考資料

本資料に記載されている将来の当社業績に関する見通しほか全ての内容は、本資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経済情勢、市場動向、経営環境などの変化により、記載事項と異なる可能性があることに十分ご留意下さい。また、本資料の無断転載はお断りいたします。

◇お問い合わせ先

〒107-8006

東京都港区赤坂5丁目3番6号 Tel : 03-3746-1111（代表）

株式会社TBSホールディングス 総務局コーポレート業務推進部IR室

HP : <https://www.tbsholdings.co.jp/ir/>

# ▶ 2024年度 第2四半期（中間期）決算ハイライト

2024年度 業績見通し

株主還元

経営計画の進捗

今後の重点施策

参考資料

## 2024年度 第2四半期（中間期）決算

- 連結全体で増収増益。特に親会社株主に帰属する中間純利益は、投資有価証券売却益の増加などにより、大幅な増益。第2四半期（中間期）の売上高としては、過去最高を更新。
- メディア・コンテンツ事業は、スポット市況の好調による放送収入の増加に加え、配信広告収入も引き続き好調で、増収増益。
- ライフスタイル事業は、2024年6月にライトアップショッピングクラブが連結範囲から外れた影響を、スタイリングライフグループの化粧品、暑さ対策商材などの伸長に加え、2023年6月に連結したやる気スイッチグループの増加が上回り、増収。一方、やる気スイッチグループでの人件費や広告宣伝費の増加に加え、のれんなどの償却費の増加により、減益。
- 不動産・その他事業は、賃料収入の増加などにより、増収増益。

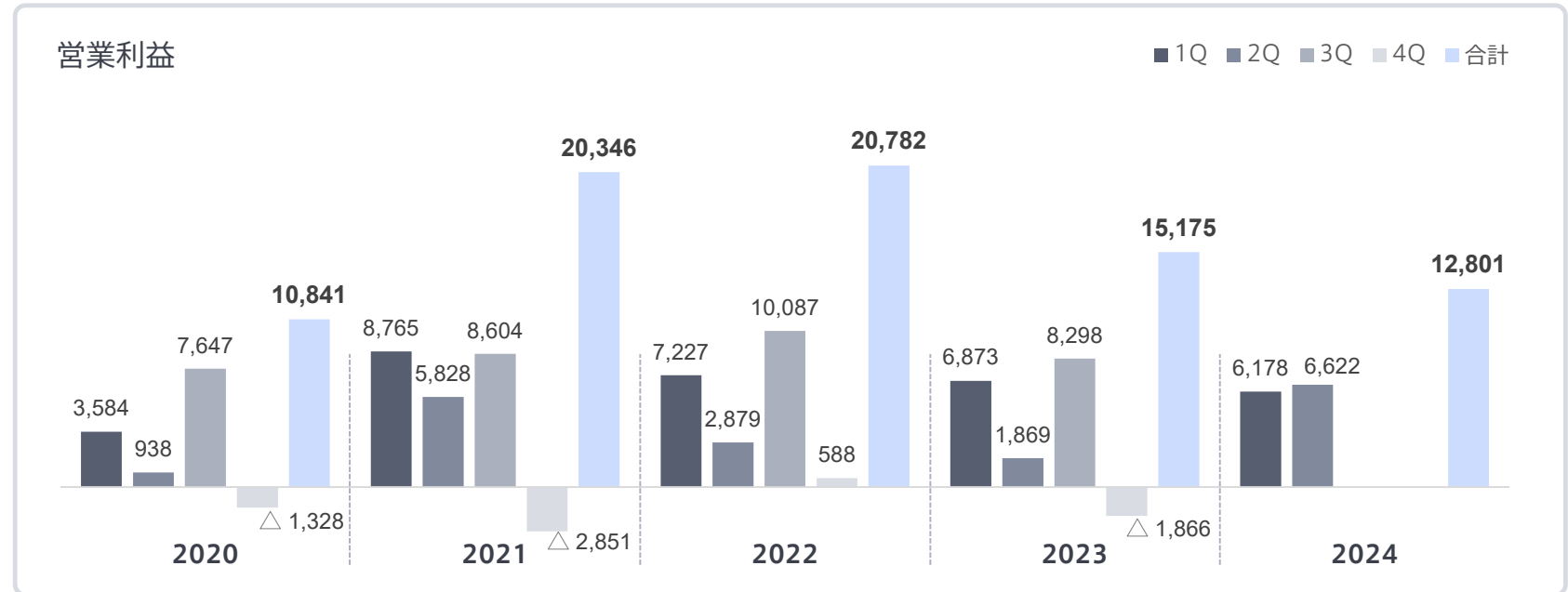
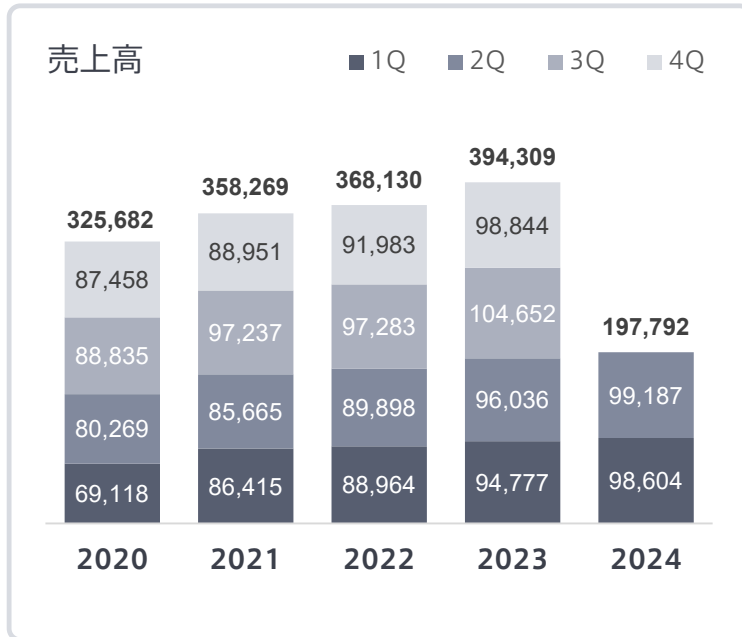
## 2024年度 業績見通し

- 連結業績予想は、2024年9月3日発表の業績予想修正より変更なし。
- TBSテレビ業績予想は、投資有価証券売却益の発生に伴い、2024年5月14日発表の業績予想より当期純利益を上方修正。

# 連結損益計算書

連結全体で増収増益。特に親会社株主に帰属する中間純利益は、投資有価証券売却益の増加などにより、大幅な増益。

連結	2023年度 中間期(4-9月)	2024年度 中間期(4-9月)	前年差	増減率	単位: 百万円
売上高	190,813	197,792	+6,979	+3.7%	
営業利益	8,743	12,801	+4,057	+46.4%	
経常利益	16,257	18,652	+2,395	+14.7%	
親会社株主に帰属する中間純利益	9,832	33,578	+23,746	+241.5%	



# 連結セグメント別 実績

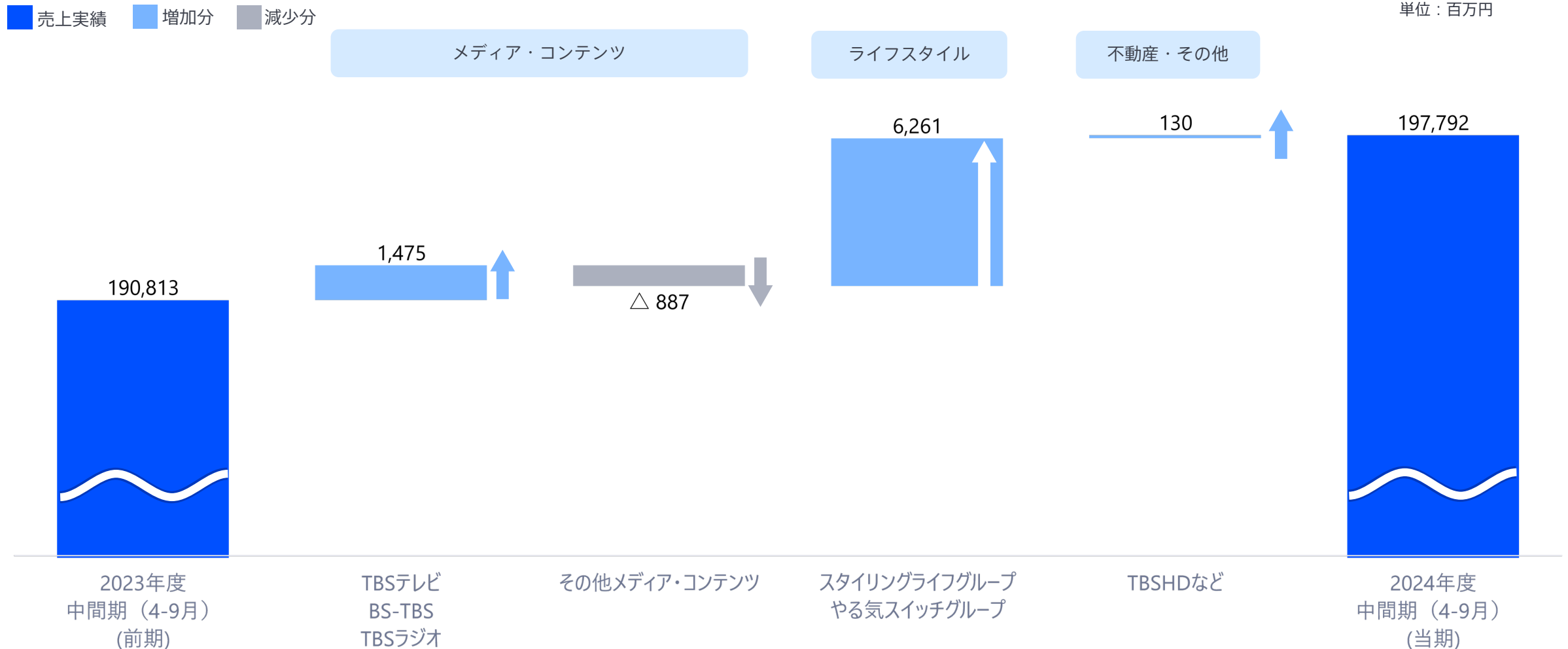
	外部売上				営業利益				単位: 百万円
	2023年度 中間期(4-9月)	2024年度 中間期(4-9月)	前年差	増減率	2023年度 中間期(4-9月)	2024年度 中間期(4-9月)	前年差	増減率	
メディア・コンテンツ	141,370	<b>141,958</b>	+587	+0.4%	1,860	<b>6,199</b>	+4,339	+233.3%	
ライフスタイル	41,109	<b>47,370</b>	+6,261	+15.2%	2,714	<b>2,426</b>	△287	△10.6%	
不動産・その他	8,333	<b>8,463</b>	+130	+1.6%	4,165	<b>4,173</b>	+8	+0.2%	
調整額	—	—	—	—	3	<b>0</b>	△2	—	
連結	190,813	<b>197,792</b>	+6,979	+3.7%	8,743	<b>12,801</b>	+4,057	+46.4%	

増減要因	外部売上	営業利益	単位: 百万円
メディア・コンテンツ	TBSテレビ+1,414 TBSスパークル+1,067 TCエンタテインメント△1,896	TBSテレビ+4,526 TBSスパークル+917 TBSアクト△459 TCエンタテインメント△393	
ライフスタイル	やる気スイッチグループ+5,468 スタイリングライフグループ+791	スタイリングライフグループ+563 やる気スイッチグループ△891	
不動産・その他	TBS HD+268 緑山スタジオ・シティ△57 TBSヘクサ△51	TBSサンワーク+90	

# 連結セグメント別 売上高（外部売上）の増減要因

連結全体で増収。

- メディア・コンテンツ事業 → スポット市況の好調による放送収入の増収に加え、配信広告収入も引き続き好調で、増収。
- ライフスタイル事業 → 2024年6月にライトアップショッピングクラブが連結範囲から外れた影響を、スタイリングライフグループの化粧品、暑さ対策商材などの伸長に加え、2023年6月に連結したやる気スイッチグループの増加が上回り、増収。
- 不動産・その他事業 → 賃料収入の増加などにより、増収。



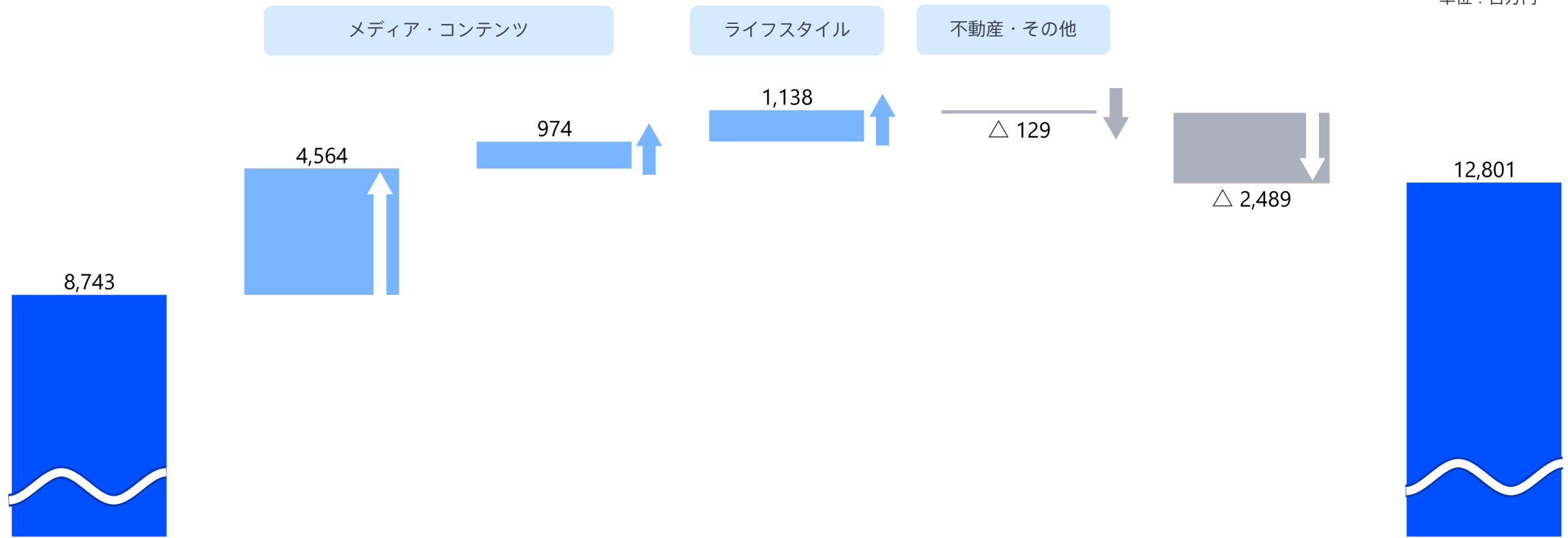
# 連結セグメント別 営業利益の増減要因

連結全体では、増益。

- メディア・コンテンツ事業 → 地上波広告収入が増加する中、番組制作費が減少。映画「ラストマイル」の大ヒットなどもあり、増益。
- ライフスタイル事業 → スタイリングライフグループが好調も、連結調整その他に含まれているのれんなどの償却費増加により、減益。
- 不動産・その他事業 → 賃料収入の増加などにより、増益。

■ 営業利益 ■ 増加分 ■ 減少分

単位：百万円



2023年度  
中間期 (4-9月)  
(前期)

TBSテレビ  
BS-TBS  
TBSラジオ

その他メディア・コンテンツ

スタイリングライフグループ  
やる気スイッチグループ

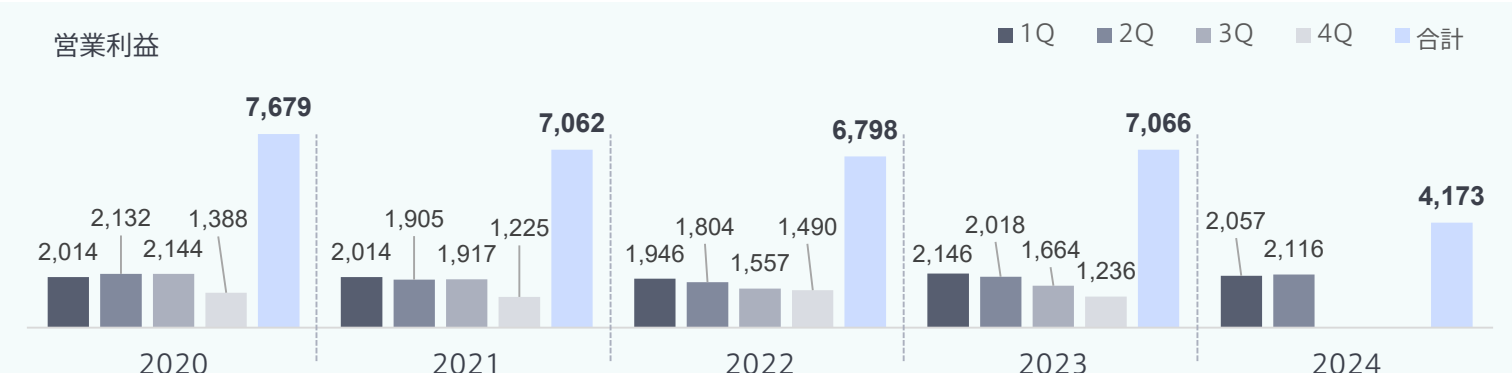
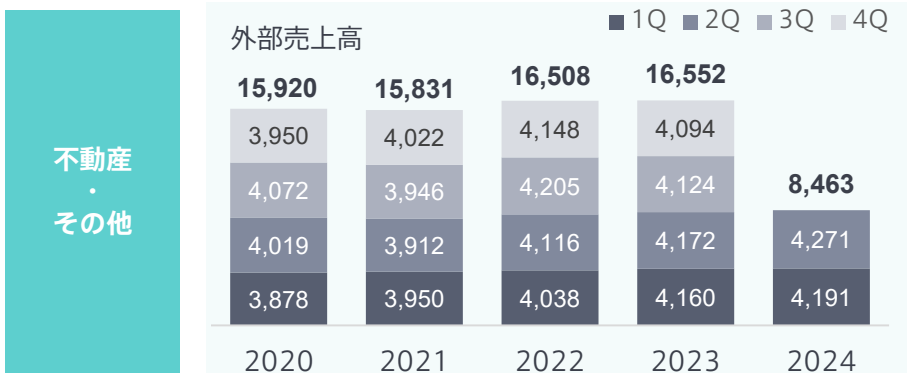
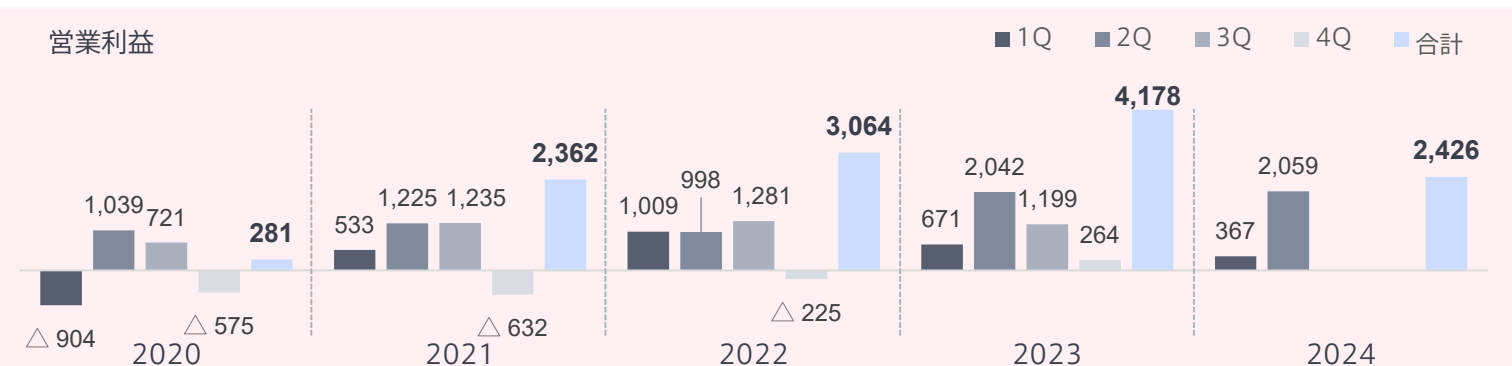
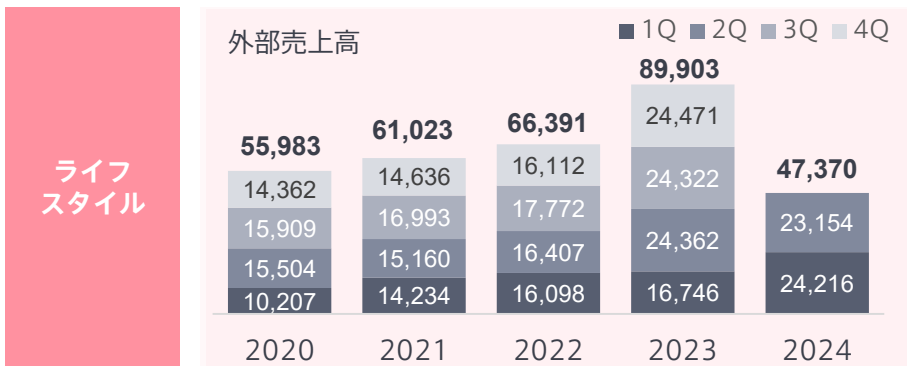
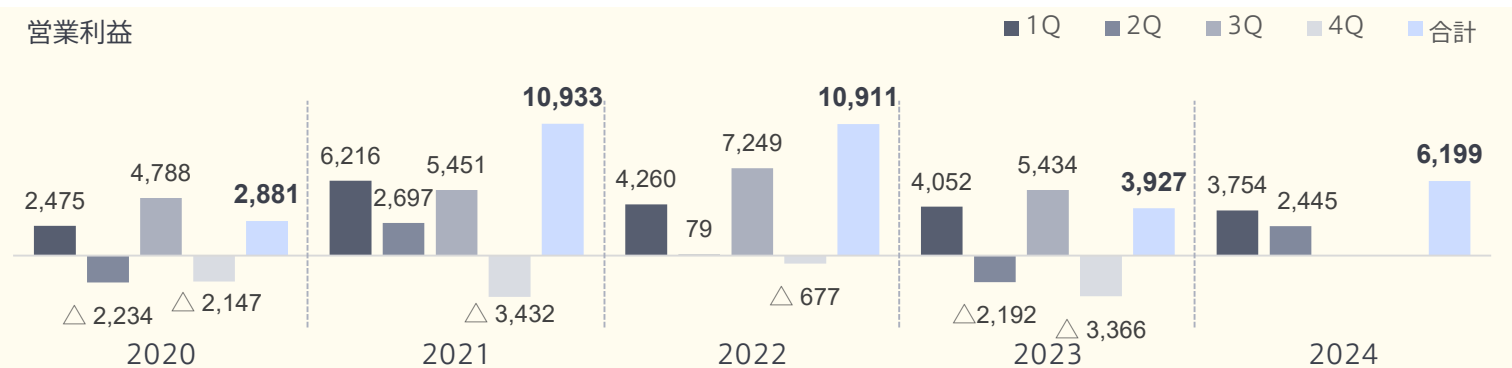
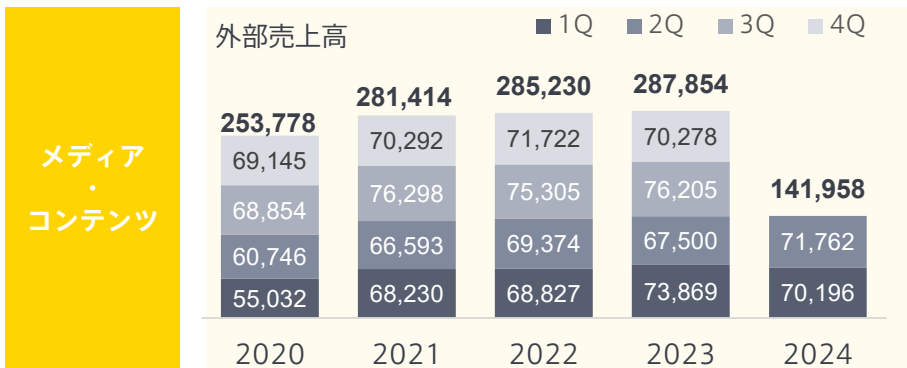
TBSHDなど

連結調整  
その他

2024年度  
中間期 (4-9月)  
(当期)



# 連結セグメント別 経年推移

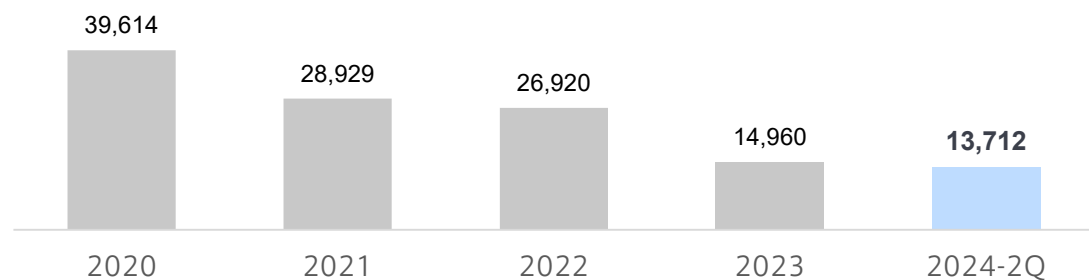


# 設備投資と減価償却費

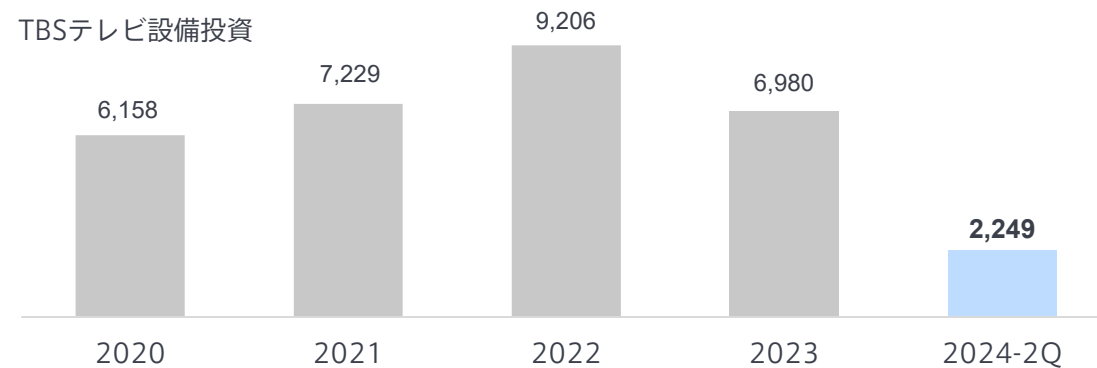
連結	2024年度 中間期(4-9月)	前年差	単位: 百万円
設備投資	13,712	+10,048	
減価償却費	7,258	+672	

TBSテレビ	2024年度 中間期(4-9月)	前年差	単位: 百万円
設備投資	2,249	+166	
減価償却費	3,792	+5	

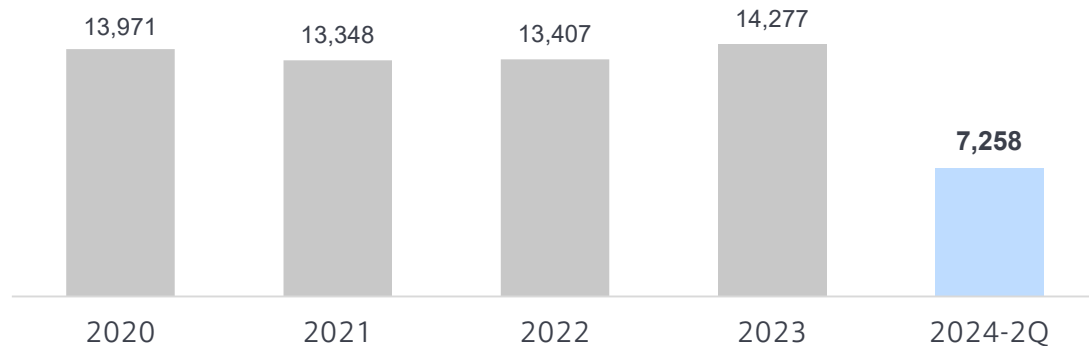
連結設備投資



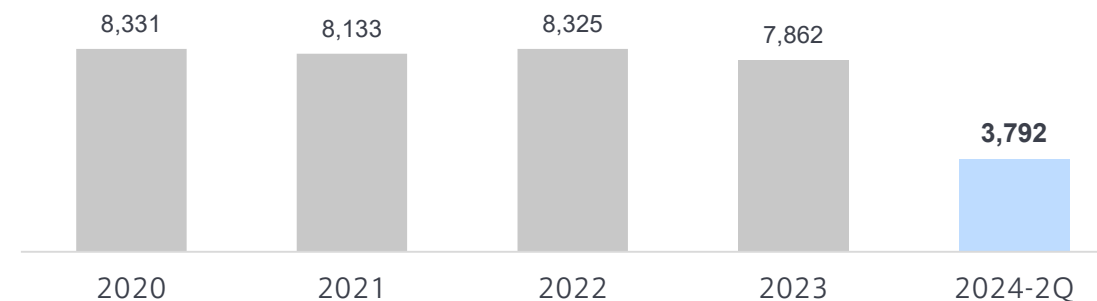
TBSテレビ設備投資



連結減価償却費



TBSテレビ減価償却費

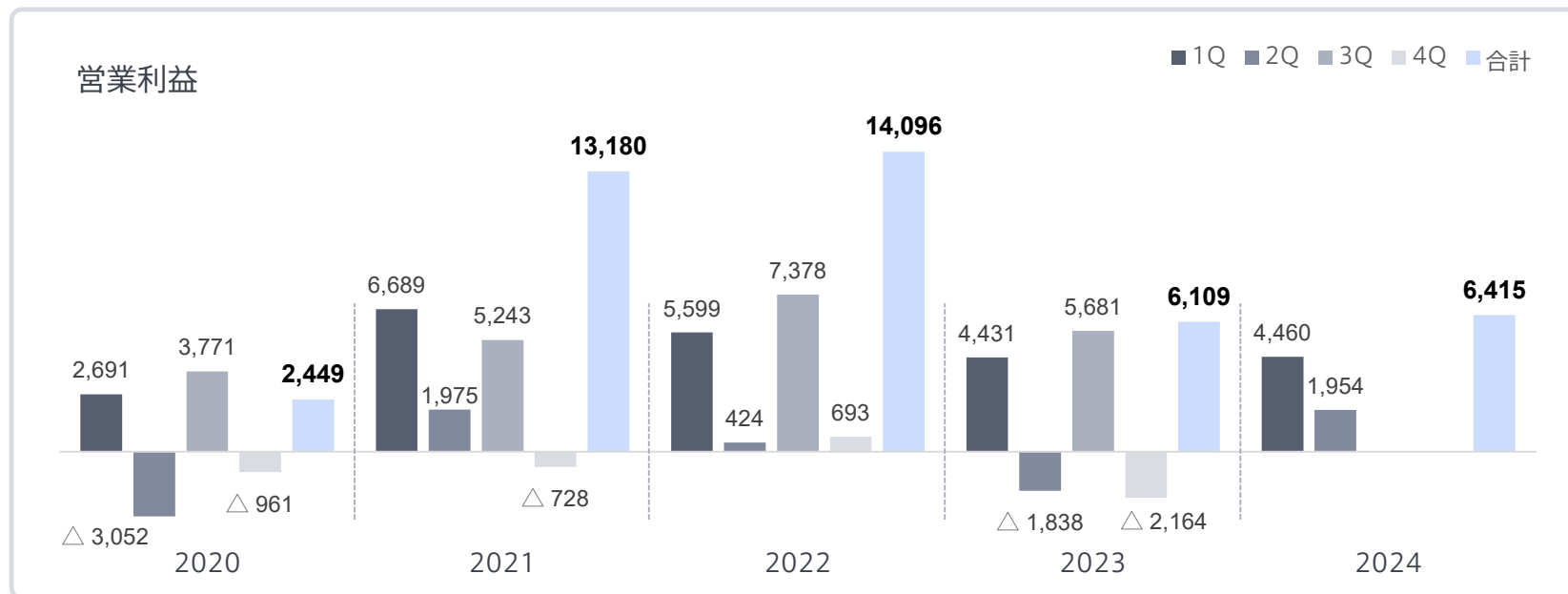
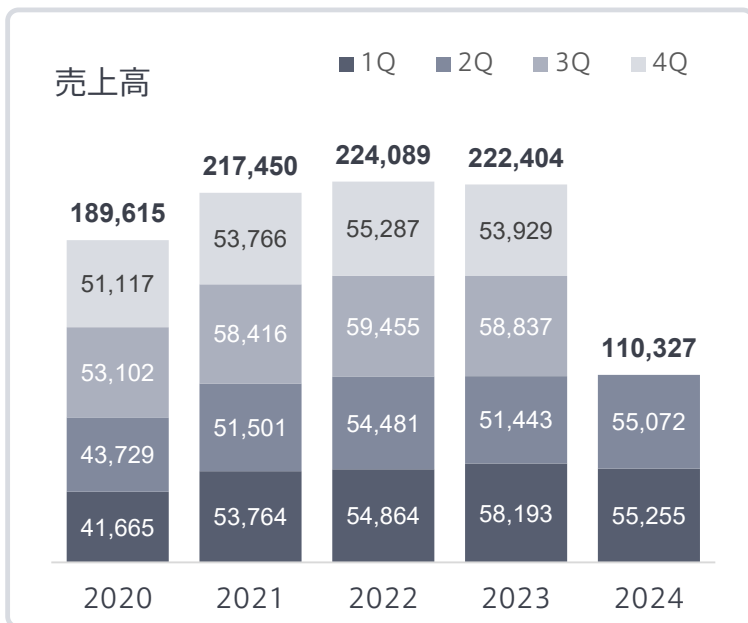


# TBSテレビ 損益計算書

スポット市況の好調による放送収入の増収に加え、配信広告収入も引き続き好調で、増収。  
 営業利益は、増収に加え、番組制作費の減少などもあり、増益。経常利益も、増益。  
 中間純利益は、前年計上された退職給付費用の反動により特別損失が減少する中、投資有価証券売却益の増加などにより、増益幅を拡大。

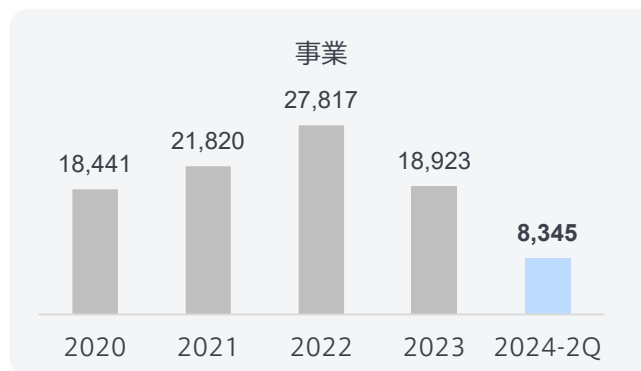
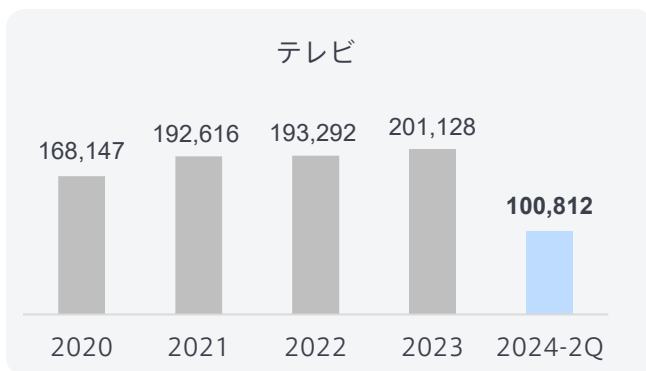
TBSテレビ	2023年度 中間期(4-9月)	2024年度 中間期(4-9月)	前年差	増減率	単位: 百万円
売上高	109,637	<b>110,327</b>	+690	+0.6%	
営業利益	2,592	<b>6,415</b>	+3,822	+147.4%	
経常利益	4,041	<b>7,877</b>	+3,835	+94.9%	
中間純利益	3,437	<b>23,251</b>	+19,814	+576.4%	

営業費用など	
番組原価	△1,922
代理店手数料	+242 (当期14,392)
ネットワーク費	+366
事業部門営業費用	△1,922
特別利益 (投資有価証券売却益)	当期 27,564
特別損失 (投資有価証券評価損)	当期 3



	2024年度 中間期(4-9月)	前年差	単位: 百万円
テレビ	100,812	+4,567	
ータイム	40,001	△557	
ースポット	37,815	+1,608	
ー配信広告	4,363	+1,064	
ー有料配信	5,826	△790	
ーその他	12,804	+3,242	
事業	8,345	△3,853	
不動産	1,169	△23	
収入合計	110,327	+690	

※ 前中間会計期間において事業部門に含めていたメディア事業（CS事業）にかかる収入の一部について、2023年7月よりテレビ部門のその他区分で集計しています。  
 なお、前中間会計期間および前事業年度について、当該変更による組替は行わずに前年差を算出しています。



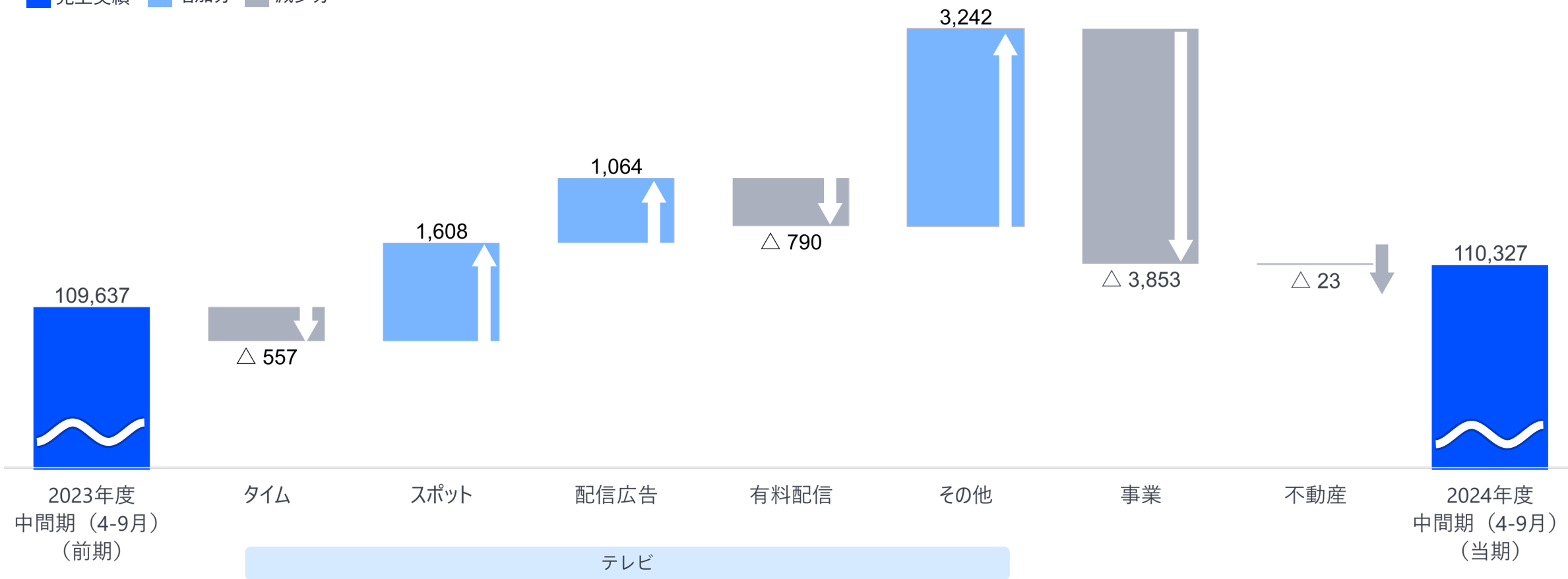
# TBSテレビ 売上高の増減要因

トータルで、増収。

- テレビ部門 → 好調なスポット市況を背景に放送収入が前年を上回ったことに加え、配信広告収入の伸長、メディア事業の移管などによる増収が、前年大きく売上に貢献した海外配信の反動による減収をカバーし、増収。
- 事業部門 → 前年好調であったDVD販売や映画などの反動に加え、メディア事業のテレビ部門への移管により、減収。

■ 売上実績 ■ 増加分 ■ 減少分

単位：百万円



# テレビ番組原価（制作費）

第2四半期は、パリ五輪など大型スポーツで費用増となったが、バラエティ・ドラマの反動減などがあり、減少。

	2023年度	2024年度	前年差
第1四半期	24,255	22,908	△1,347
第2四半期	25,109	24,530	△578
（地上波直接費）	20,057	19,476	△581
（その他直接費および間接費）	5,051	5,054	+2
<b>中間期(4-9月)</b>	49,365	47,438	△1,926
第3四半期	24,855	-	-
第4四半期	23,171	-	-
<b>通期累計</b>	97,392	97,500	+107
（地上波直接費）	77,423	77,000	△423
（その他直接費および間接費）	19,968	20,500	+531

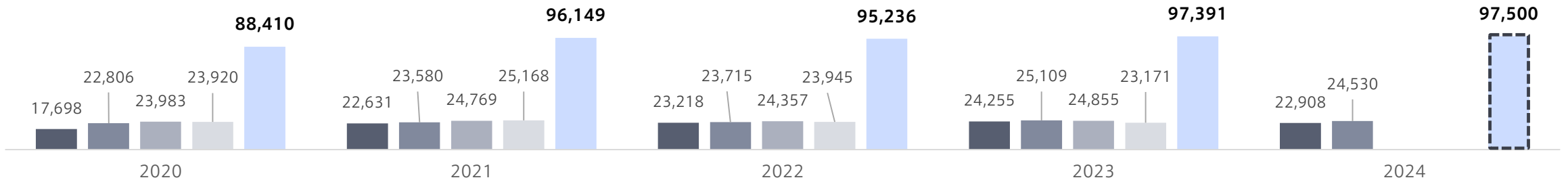
単位:  
百万円

## テレビ番組原価に含まれる主な費用

- 地上波直接費  
番組制作費、放送権料、美術制作費、技術制作費
- その他直接費および間接費  
地上波以外の直接費、減価償却費・社員人件費などの配賦原価

※ 点線内の通期累計および内訳は、すべて見込みです。

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q ■ 合計

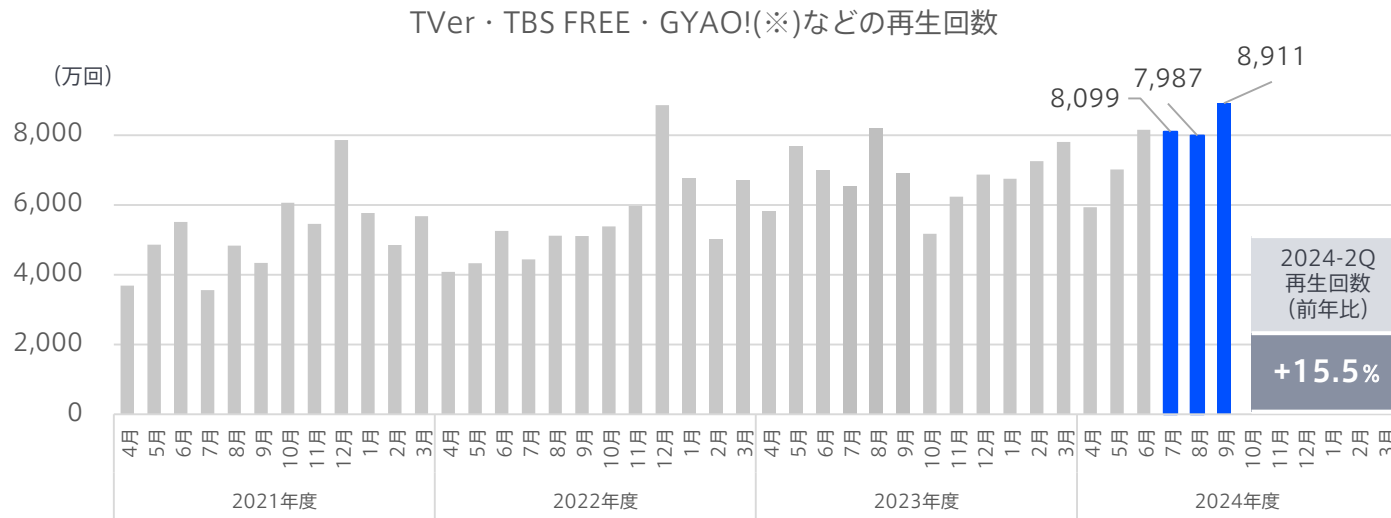
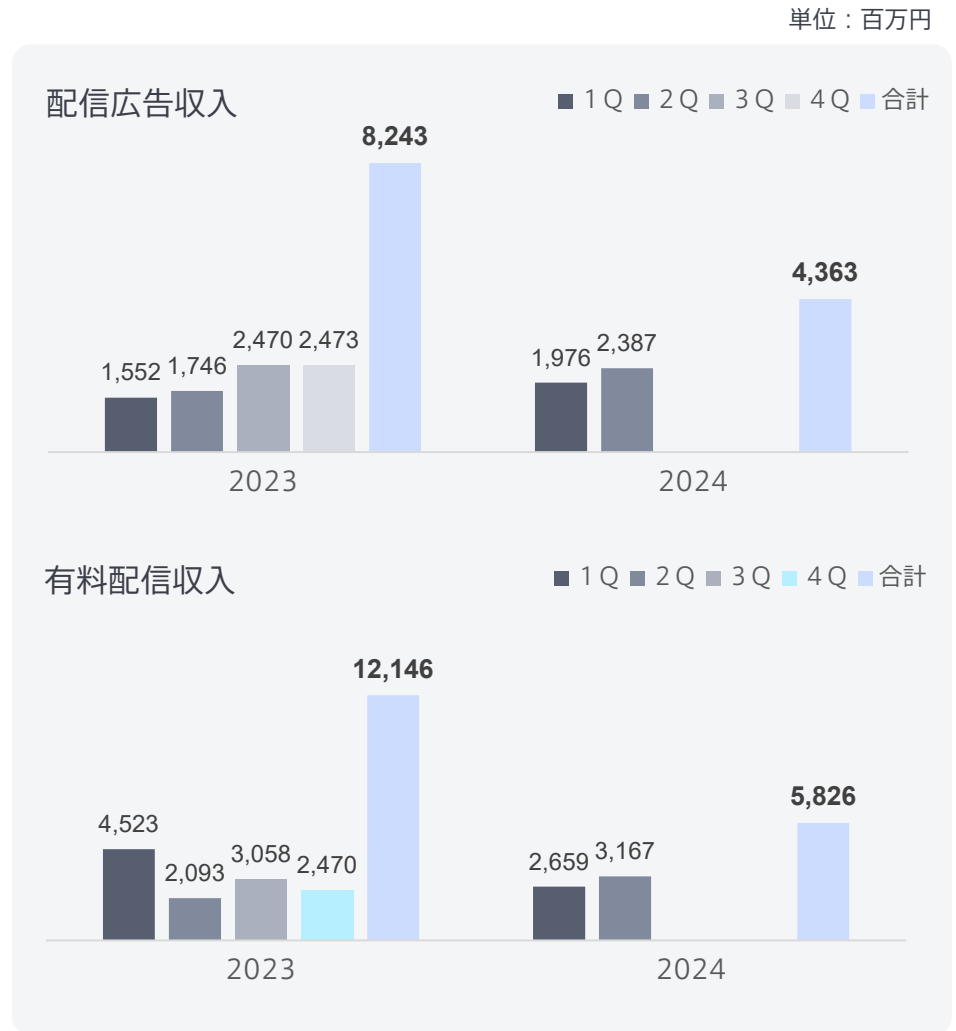


# 配信事業の状況

配信広告収入 → 「バレーボールネーションズリーグ」ライブ配信に加え、パリ五輪のセールス好調や、ドラマ・バラエティの好調な再生回数を背景に、増収。

有料配信収入 → 過去のヒット作品の配信が好調だったものの、前年大きく売上に貢献した海外配信（「風雲！たけし城」や「離婚しようよ」など）の反動により、減収。

	2023年度 中間期(4-9月)	2024年度 中間期(4-9月)	前年差	増減率	単位: 百万円
配信広告収入	3,299	4,363	+1,064	+32.3%	
有料配信収入	6,617	5,826	△790	△11.9%	



※ GYAO!は2023年3月末でサービス終了

単位:  
百万円

部門	売上高		粗利益		主な増減要因
	2024年度 中間期(4-9月)	前年差	2024年度 中間期(4-9月)	前年差	
アニメ	786	+255	73	△229	「五等分の花嫁」の二次利用収入の増加などにより増収も、地上波枠増加に伴い新作アニメの制作費が増加し、減益。
映画	1,843	△170	1,046	+102	「ラストマイル」が大ヒットしているものの、前年の「TOKYO MER ~走る緊急救命室~」との公開時期の差などで減収。一方、二次利用収入の増加などにより増益。
ライブエンタテインメント (旧：催事・興行)	4,347	△634	46	△769	舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」の公演収入の一服に加え、2023年7月より展覧会事業をTBSグロウディアに移管した影響などにより、減収減益。
コンテンツビジネス (旧：マーチャダイジングセンター)	436	△635	371	△418	前年好調であったDVD販売の反動に加え、2023年7月より一部をTBSグロウディアに移管した影響により、減収減益。
グローバルビジネス	932	△261	456	△189	前年好調であった「風雲！たけし城」のフォーマット販売の反動により、減収減益。
メディア事業・eスポーツ	-	△2,406	-	△602	2023年7月以降、テレビ部門に移管。
その他営業費用			△780	+176	
<b>部門計</b>	<b>8,345</b>	<b>△3,853</b>	<b>1,213</b>	<b>△1,930</b>	事業部門全体では、減収減益。



# メディア・コンテンツセグメントの主なグループ会社状況

	売上高			営業利益			主な増減要因
	2023年度 中間期 (4-9月)	2024年度 中間期 (4-9月)	前年差	2023年度 中間期 (4-9月)	2024年度 中間期 (4-9月)	前年差	
TBSラジオ	3,982	<b>4,094</b>	+112	△32	<b>△0</b>	+32	好調なイベント収入がスポット収入の減収をカバーして増収増益。
BS-TBS	8,471	<b>8,402</b>	△68	1,460	<b>1,465</b>	+5	大型スポーツ単発の反動などで放送収入が減少し減収。利益面では増益。
TBSグローディア	15,032	<b>15,311</b>	+278	550	<b>625</b>	+75	前年好調であったDVD収入の反動減をショッピング事業がカバーしたことなどにより、増収増益。
日音	4,425	<b>4,440</b>	+15	383	<b>407</b>	+24	著作権収入は減少も、ライブ関連収入などの増収により、増収増益。
TCエンタテインメント	5,007	<b>2,981</b>	△2,025	600	<b>206</b>	△393	前年好調であったDVD販売の反動などにより、減収減益。

単位：  
百万円

# スタイリングライフグループ

雑貨小売販売事業は、化粧品や暑さ対策商材が伸長したことなどにより、増収増益。  
 ビューティ&ウェルネス事業は、「サボリーノ」や「乾燥さん」といった主力ブランドや新規商材が伸長したことなどにより、増収増益。  
 グループ全体では、好調な雑貨小売販売事業やビューティ&ウェルネス事業による増収が、通信販売事業の連結除外による減少を上回り、増収増益。  
 また、営業利益は第2四半期（中間期）としては過去最高を更新。

※1 事業別の売上高は管理会計上の数値。

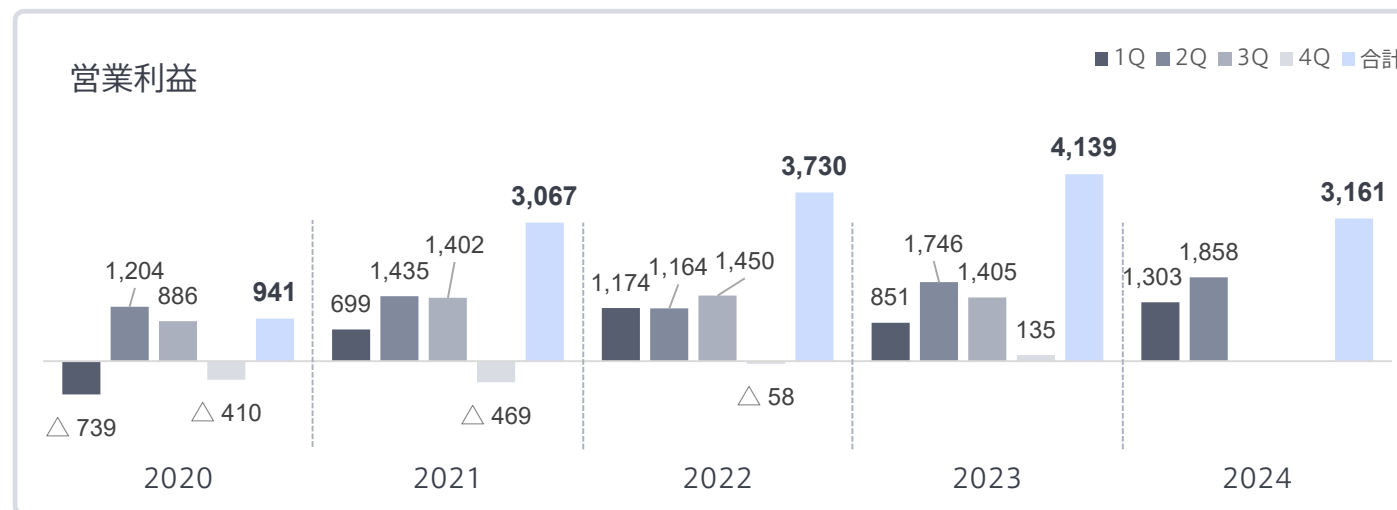
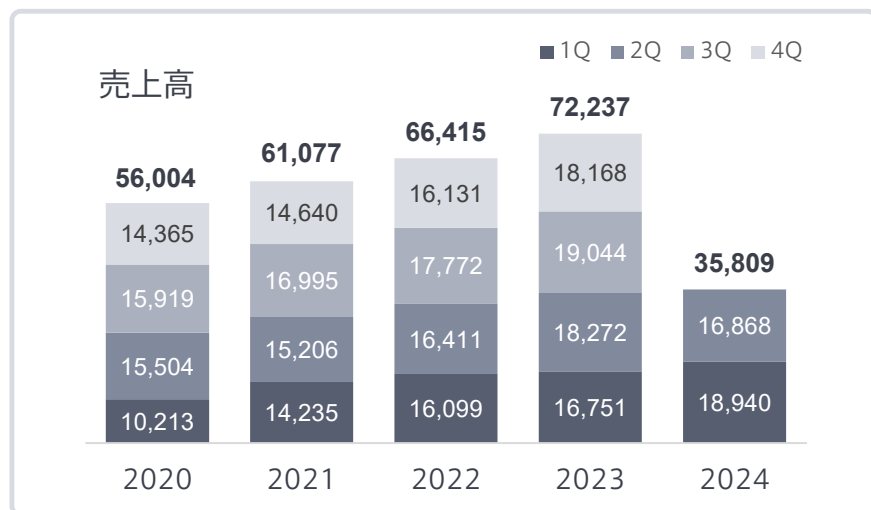
連結	2023年度 中間期 (4-9月)	2024年度 中間期 (4-9月)	前年差
売上高	35,023	35,809	+785
営業利益	2,598	3,161	+563

単位：  
百万円

事業別	売上高※1		
	2023年度 中間期(4-9月)	2024年度 中間期(4-9月)	前年差
雑貨小売販売事業	19,607	22,765	+3,158
通信販売事業※2	7,523	4,153	△3,369
ビューティ&ウェルネス事業	8,073	9,072	+999
本社およびその他	△179	△182	△3
計	35,023	35,809	+785

単位：  
百万円

※2 ライトアップショッピングクラブは、株式譲渡に伴い、第1四半期末において、連結範囲から除外。



# やる気スイッチグループ

やる気スイッチグループは国際会計基準（以下、IFRS）を適用しており、連結上ではIFRSを日本基準に組み替えた上で、24年3月～24年8月の6か月分を取り込んでいます。

TBS

個別指導塾事業および幼児教育事業は、積極的なフランチャイズ教室の直営化に加えて、2023年9月からの授業料などの値上げなどにより、両事業ともに増収。また、2023年9月に実施した賃上げや、将来に向けたより高い収益性確保を目的とした不採算フランチャイズ教室の直営化、およびブランディング強化のための広告宣伝費投下などにより、人件費並びに広告宣伝費の増加など、費用が先行。一方、2023年中間期に発生したTBSグループ入りに伴うトランザクション関連費用※1が今期は発生せず増益。

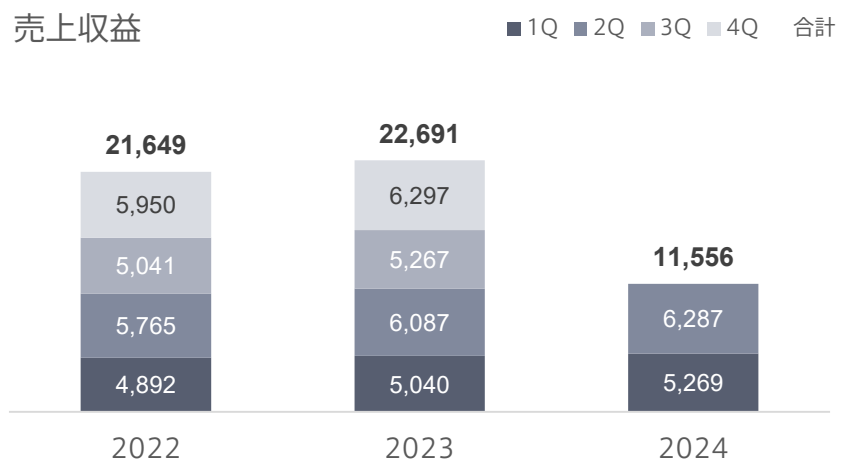
連結	2023年度 中間期 (3-8月) ※2	2024年度 中間期 (3-8月)	前年差
売上収益	11,127	11,556	+429
営業利益	286	857	+570
営業利益 トランザクション関連費用 ※1 除く	1,142		△286

単位：  
百万円

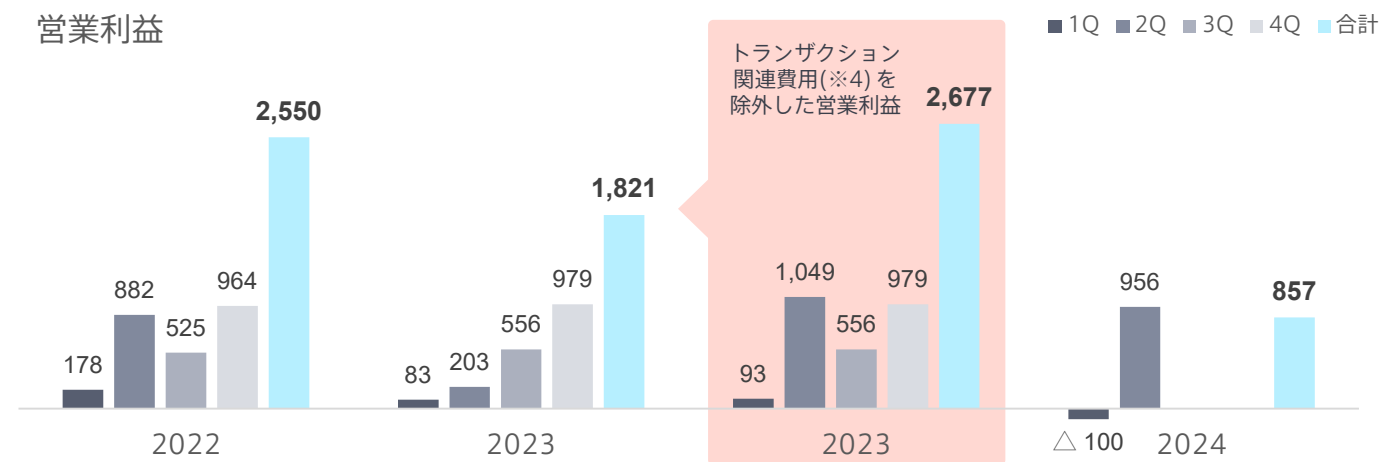
事業別	売上収益 ※3		
	2023年度 中間期 (3-8月) ※2	2024年度 中間期 (3-8月)	前年差
個別指導塾事業	5,296	5,432	+136
幼児教育事業	5,831	6,124	+293
計	11,127	11,556	+429

単位：  
百万円

## 売上収益



## 営業利益



※1 やる気スイッチグループがTBSグループ入りに伴い発生した費用。

※2 やる気スイッチグループは2023年6月より連結の範囲に加わっております。

※3 事業別の売上収益は管理会計上の数値。

※4 やる気スイッチグループがTBSグループ入りに伴い発生した費用（IFRS）を指し、連結上では日本基準に組み替えて一部を特別損失に計上しています。

2024年度 第2四半期（中間期）決算ハイライト

## ▶ 2024年度 業績見通し

株主還元

経営計画の進捗

今後の重点施策

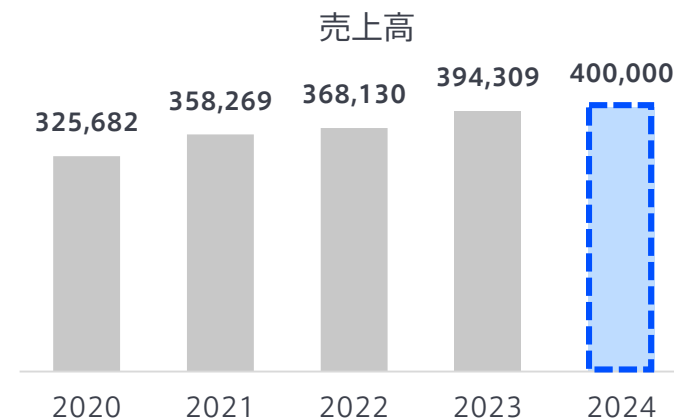
参考資料

# 2024年度 連結業績予想

連結業績予想は、2024年9月3日発表の業績予想修正より変更なし。

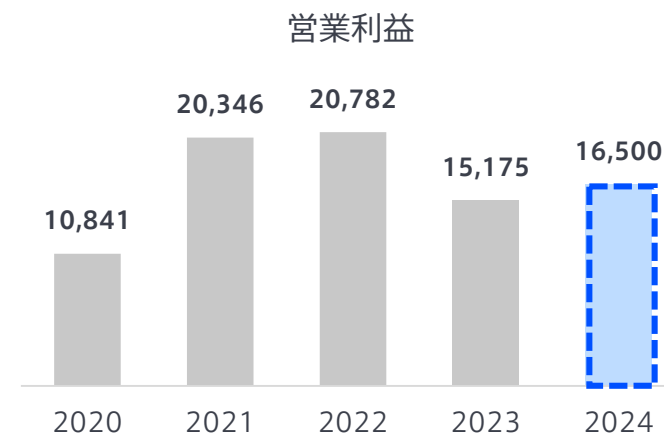
連結	2023年度実績	2024年度予想	前年差
売上高	394,309	400,000	+5,690
営業利益	15,175	16,500	+1,324
経常利益	27,653	26,100	△1,553
親会社株主に帰属する当期純利益	38,126	37,400	△726

単位:  
百万円



セグメント別	売上高			営業利益		
	2023年度実績	2024年度予想	前年差	2023年度実績	2024年度予想	前年差
メディア・コンテンツ	287,854	294,700	+6,845	3,927	6,400	+2,472
ライフスタイル	89,903	88,200	△1,703	4,178	4,200	+22
不動産・その他	16,552	17,100	+547	7,066	5,900	△1,166
調整額	—	—	—	3	—	△3
連結	394,309	400,000	+5,691	15,175	16,500	+1,325

単位:  
百万円

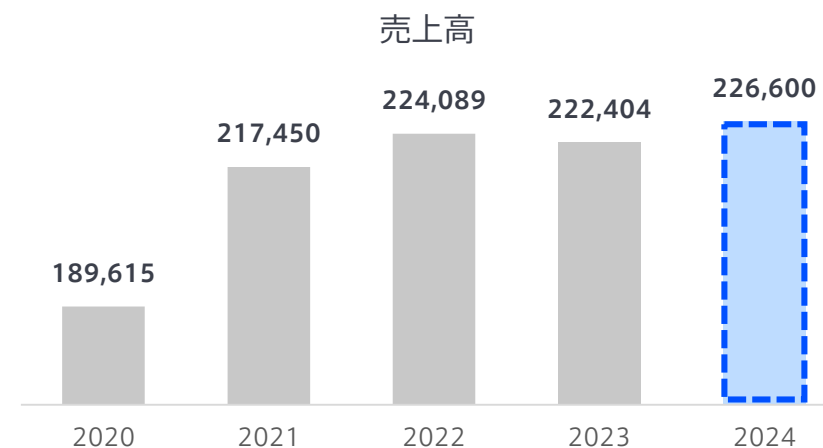


# 2024年度 TBSテレビ業績予想

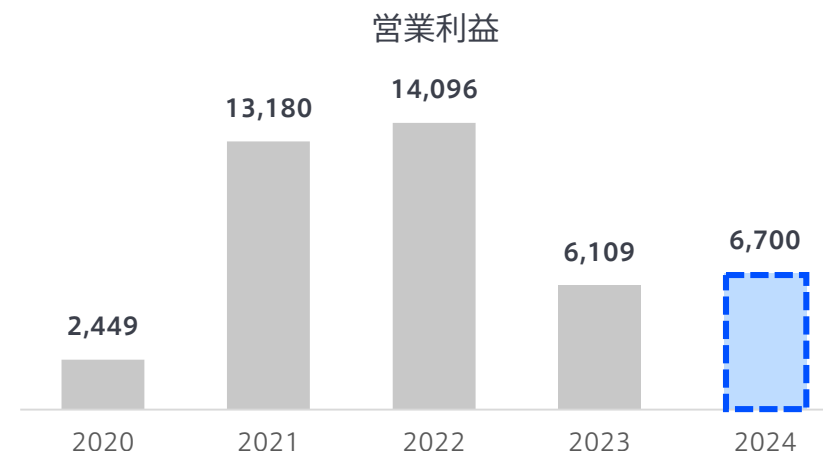
TBSテレビの業績予想は、投資有価証券売却益の発生に伴い、2024年5月14日発表の業績予想より当期純利益を上方修正。また、タイム・スポットの予想を変更。

TBSテレビ	2023年度実績	前回予想 (5/14発表)	修正予想	前回予想からの増減
売上高	222,404	226,600	226,600	—
営業利益	6,109	6,700	6,700	—
経常利益	8,644	9,100	9,100	—
当期純利益	5,863	8,100	23,900	+15,800

単位:  
百万円



	2023年度 中間期(4-9月) 実績	通期予想 (前回予想との比較)
タイム	△1.4%	△2.8% → △1.2%
スポット	+4.4%	+2.2% → +3.5%
番組原価 (百万円)	49,365	修正なし



2024年度 第2四半期（中間期）決算ハイライト

2024年度 業績見通し

## ▶ 株主還元

経営計画の進捗

今後の重点施策

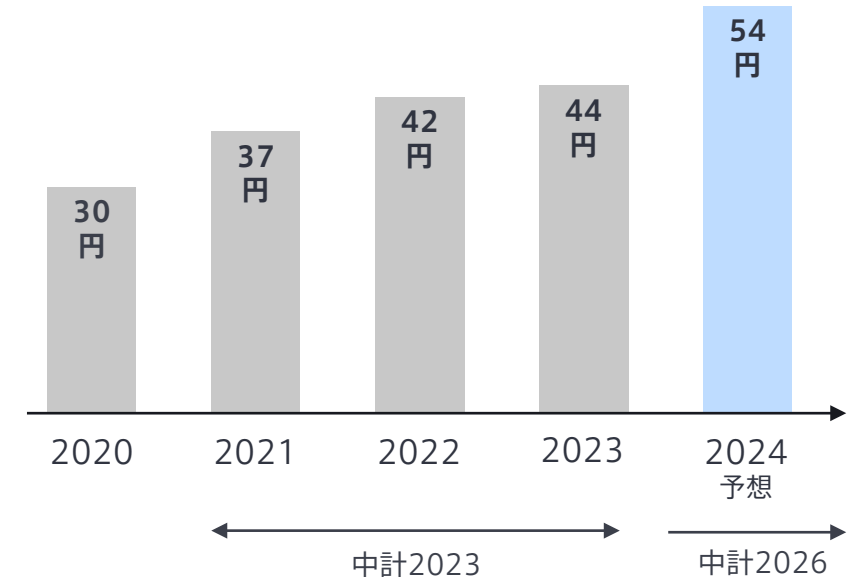
参考資料

# 株主還元方針と年間配当予想

基本方針 連結ベースの配当性向**40%**を目途として、安定的かつ継続的に配当を実施するとともに、**総還元性向**を意識したうえで、自己株式の取得も機動的に実施します。

	1株当たり配当金 (円)			配当性向 (%)	特殊な要因*の影響を除いた配当性向 (%)
	中間期末	期末	年間		
2020年度	15	15	30	18.3	59.5
2021年度	15	22	37	19.7	30.9
2022年度	20	22	42	20.1	30.3
2023年度	22	22	44	18.9	34.4
<b>2024年度 (予想)</b>	<b>27</b>	<b>27</b>	<b>54</b>	<b>40.4</b>	<b>—</b>

\* 中長期の収益拡大を目指す成長領域への投資の源泉として売却した投資有価証券から生じる売却損益は、配当額を決定する上では「特殊な要因」と位置付ける。



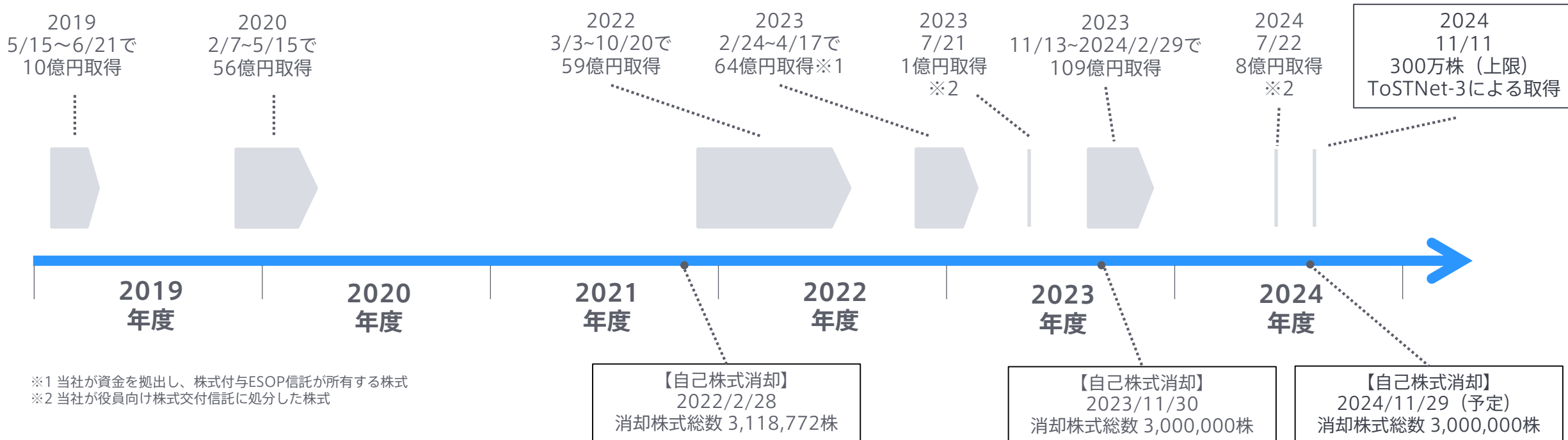
2023年度決算発表時から変更はありません。  
2024年度は10円増配の54円を予想。引き続き、安定的かつ継続的な配当を実施。



# 自己株式取得および消却

株主還元および資本効率の向上を図るため、自己株式を取得。

自己株式の取得に関する決議内容（2024年11月8日公表分）	
取得対象株式	当社普通株式
取得株式の総数	3,000,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 1.81%）
取得の方法	自己株式立会外買付取引（ToSTNet-3）による買付け



2024年度 第2四半期（中間期）決算ハイライト

2024年度 業績見通し

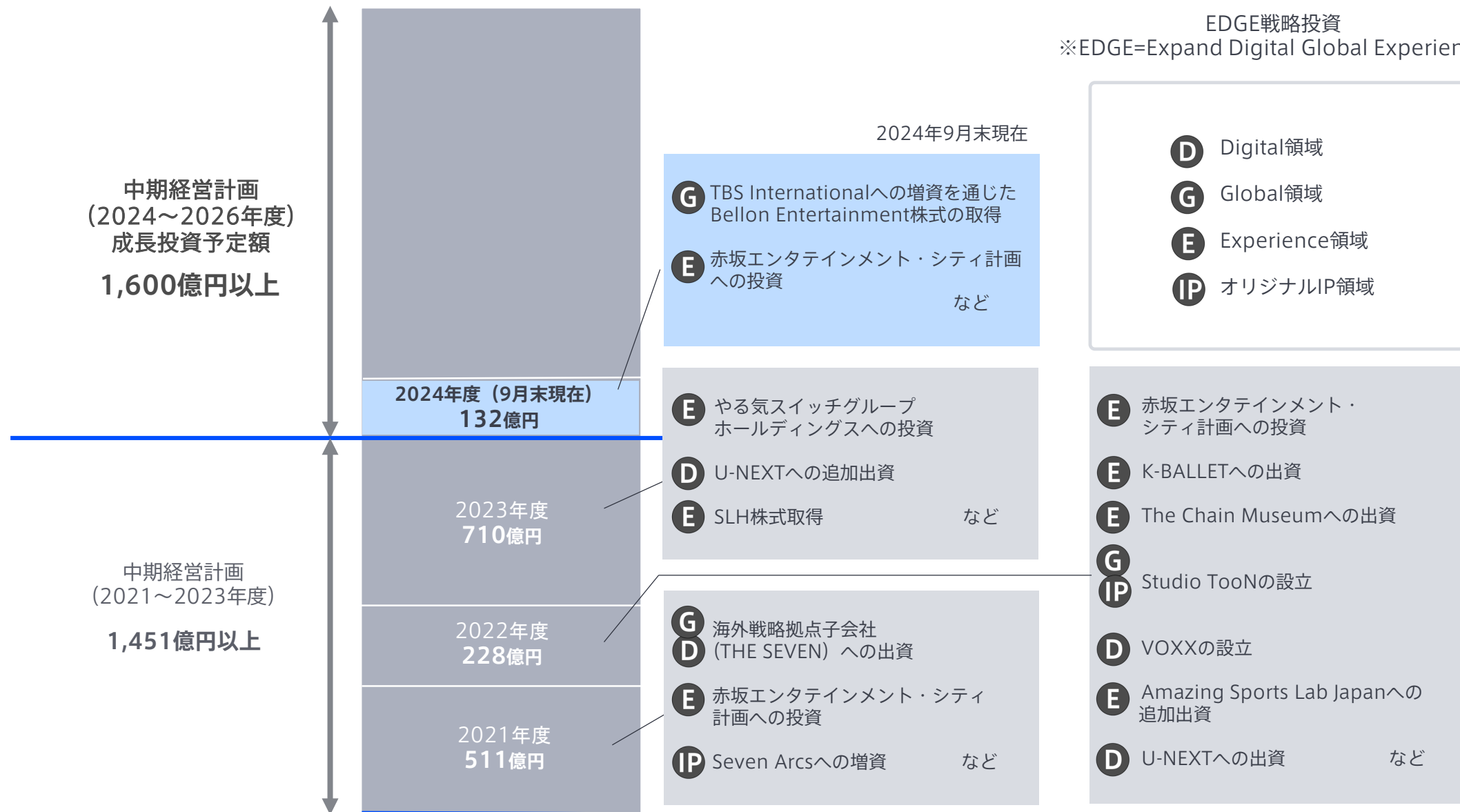
株主還元

## ▶ 経営計画の進捗

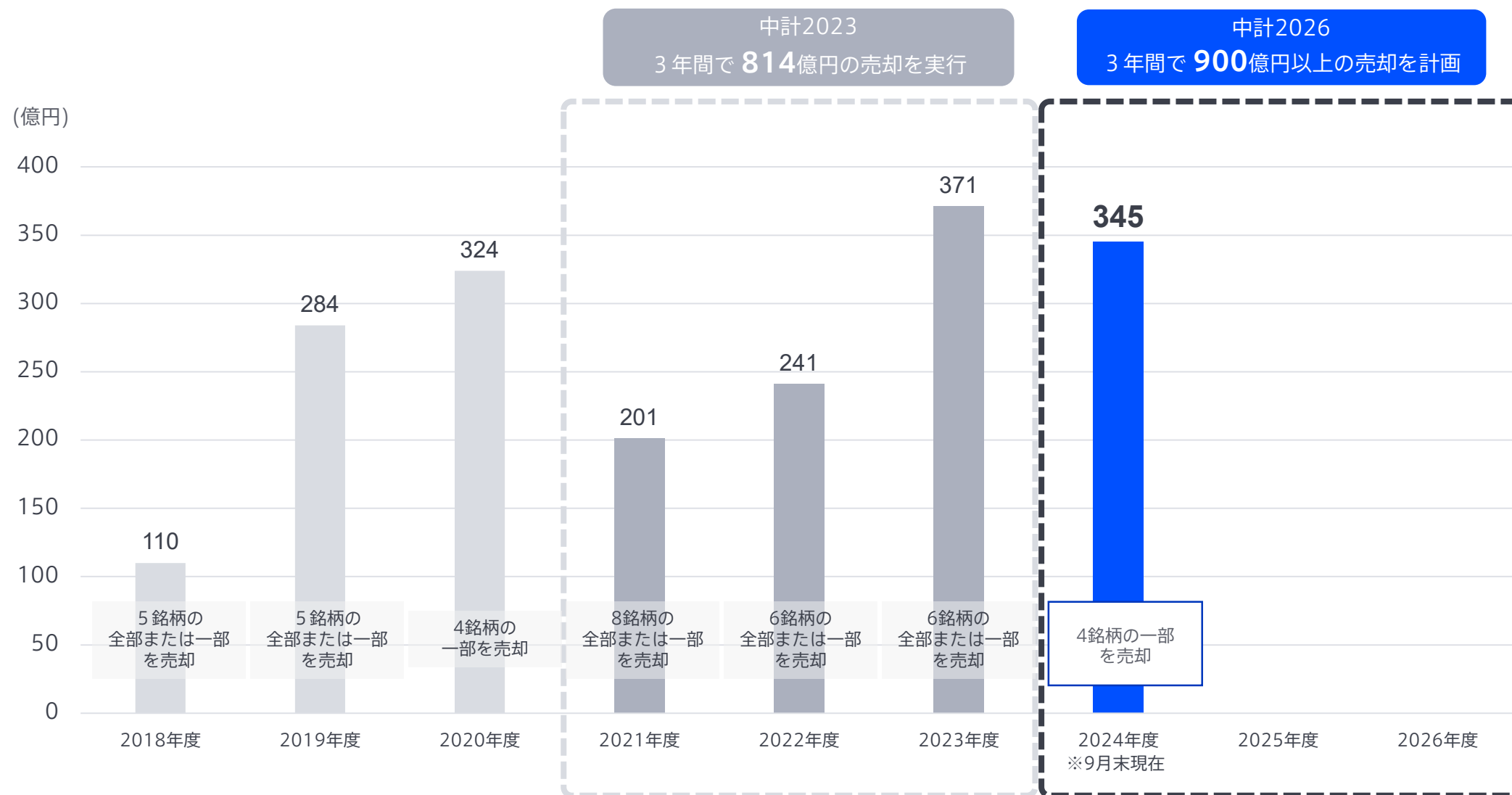
今後の重点施策

参考資料

# 成長投資の進捗



# 政策保有株式売却の推移



2024年度 第2四半期（中間期）決算ハイライト

2024年度 業績見通し

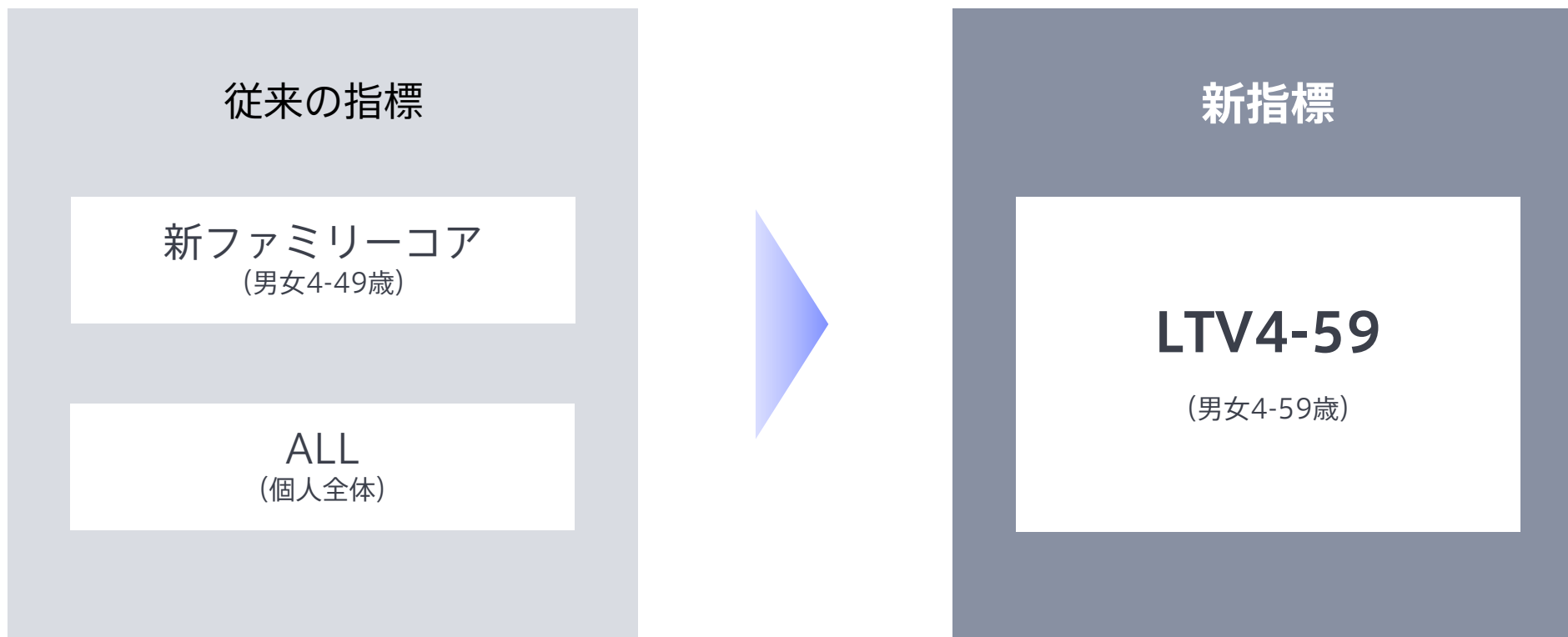
株主還元

経営計画の進捗

## ▶ 今後の重点施策

参考資料

# 新視聴率指標「LTV4-59」で1位へ



- コンテンツ・Timeless Valueの最大化
- 男女4-59歳の視聴率を獲得することが、新ファミリーコアとALLの両方の獲得に繋がる
- わかりやすく一本化された指標で、**1位**を目指す

※LTV4-59の2024年中間期視聴率（2024/4/1～2024/9/29：週ベース）と順位につきましては、P.46をご参照ください。

# 配信事業 (TVer)



- 月間動画再生数 **4.9億回**を突破
- 月間ユーザー数 **4,100万MUB**を突破
- アプリ累計DL数 **7,800万DL**を達成
- 配信番組数 **800番組以上** (全局総計)

※レギュラー番組

## パリ2024オリンピック™ ほぼ全競技※1を無料配信 総再生数約1億1,100万回※2

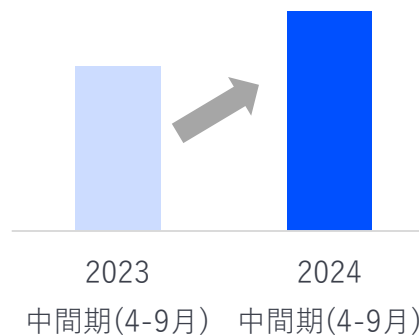
女子団体に銀メダルを獲得した卓球や、松山英樹選手が日本男子ゴルフ界初の銅メダルを獲得したゴルフ、海外勢同士の試合も多く視聴されたバスケットボールなど、さまざまな競技を地上波放送とあわせて配信。

※1. NHKの地上波放送競技の一部を除く。

※2. 2024年7月24日～8月12日における、TVerおよびYahoo!オリンピック特設ページでのVOD・ライブ配信・追っかけ再生を合計した全デバイスでの動画再生数 (ビデオリサーチにて算出)

## TBS TVer収入 (前年比)

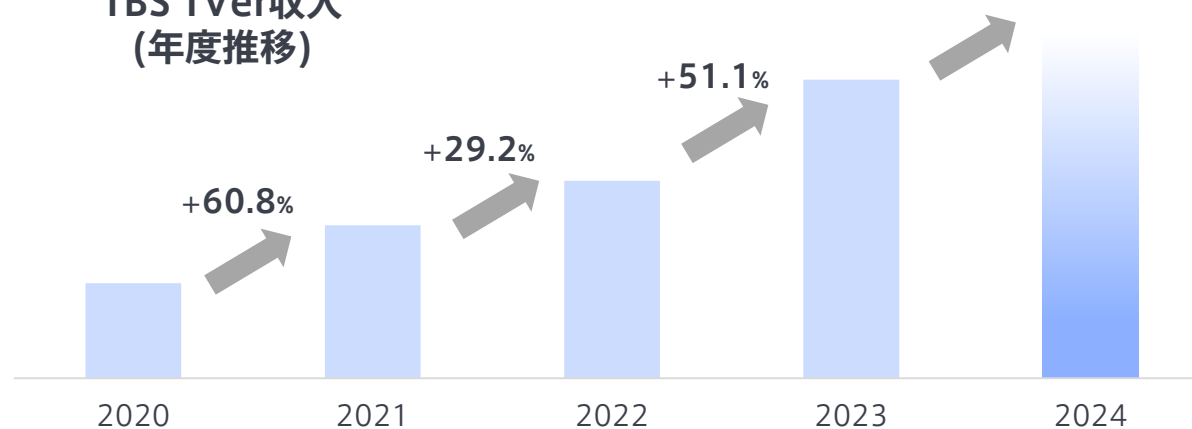
+34.0%



## TBS(2024年度中間期) 業種別ランキング

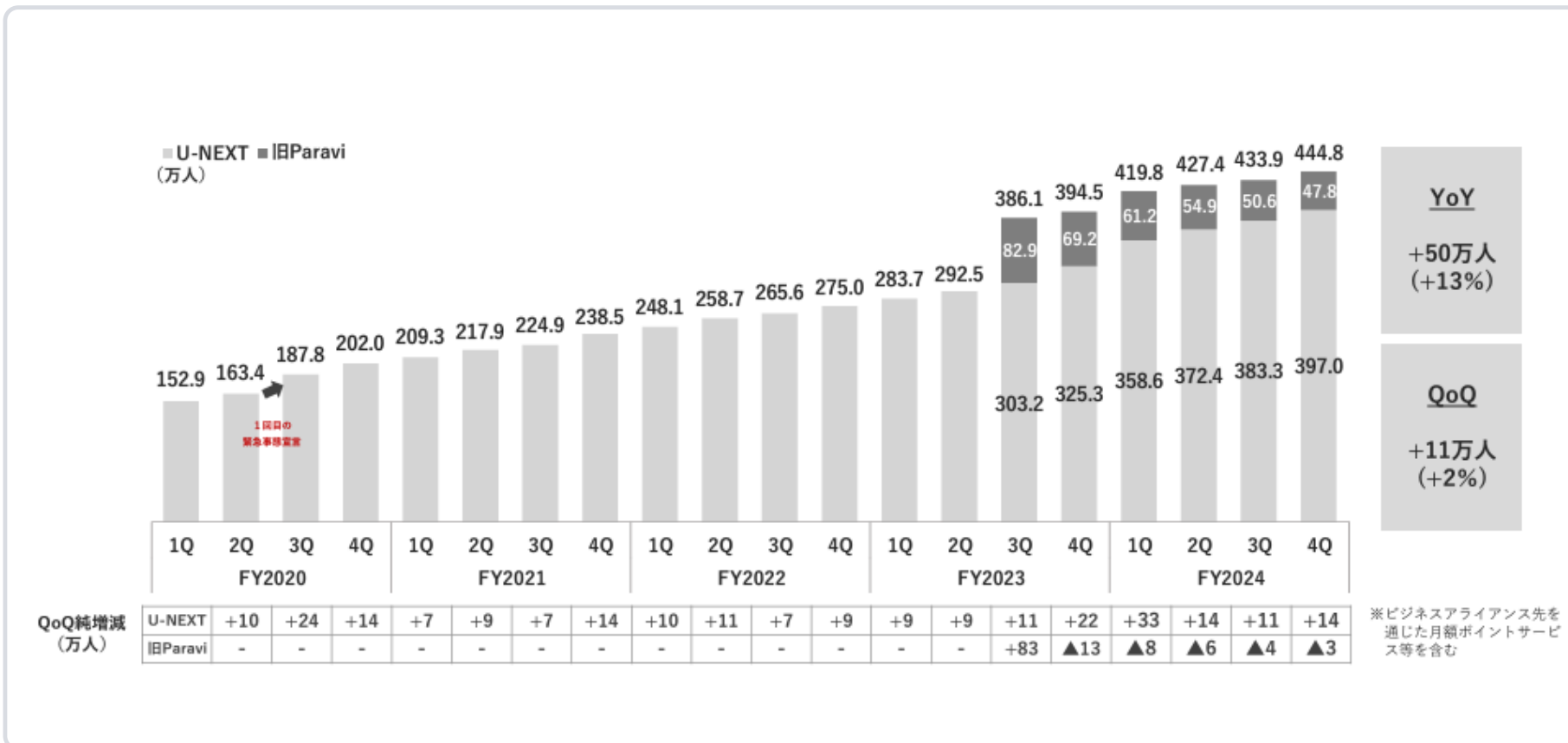
1	酒・飲料
2	化粧品・トイレタリー
3	エンタテインメント・趣味
4	金融
5	不動産・建設
6	外食・サービス
7	精密機器・事務機
8	医薬品
9	流通
10	食品

## TBS TVer収入 (年度推移)



# 配信事業 (U-NEXT)

**U-NEXT** 課金ユーザー数は着実に積み上げ



出典：(株)U-NEXT HOLDINGS 2024年8月期 通期決算説明資料



日曜劇場「ブラックペアン シーズン2」の完全オリジナルサイドストーリーを地上波に先駆けて先行配信。



“日本一のコント師”を決める大会「キングオブコント」の生放送終了後、10組のファイナリスト全員参加の「キングオブコント2024 生・大反省会」をU-NEXTで独占放送。



# IP戦略① コンテンツIPレバレッジ

強力な固定ファンを持つドラマを起点にし、同じ世界線上にドラマや映画を重ねることで相乗効果をもたらし、それぞれのコンテンツIPにレバレッジがかかり、付加価値が付きまします。この戦略により、地上波や映画館での視聴に留まらず、過去のドラマの配信視聴にもつなげ、点ではなく線での価値、「Timeless Value」を生み出します。



2024年8月に公開した映画「ラストマイル」は、興行収入約57億円(11月8日現在)を達成。この映画には、過去に地上波で放送されたドラマ「アンナチュラル」や「MIU404」の主要人物がそれぞれの魅力を活かす形で配役されたほか、ドラマの単発エピソードに登場した人物のその後が描かれるシーンも挿入されたことも話題に。「ラストマイル」のヒットに伴い、「アンナチュラル」「MIU404」の有料配信での再生回数も伸長。今後も、時代を超えた価値である「Timeless Value」を生み出す施策を打ち出していきます。

# IP戦略② オリジナルIP (スポーツ・ヒト・ゲーム)

TBSグループとしてオリジナルIPの開発・拡張戦略の三本柱として位置付けた「スポーツ」「ヒト」「ゲーム」。「KASSO (カッソー)」の海外へのフォーマット販売に着手するなど各プロジェクトの本格展開開始。

スポーツIP「KASSO」



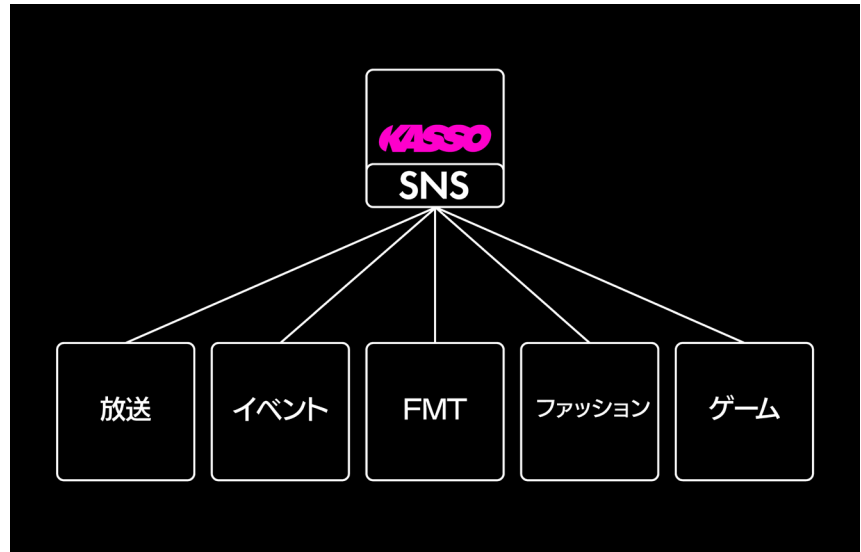
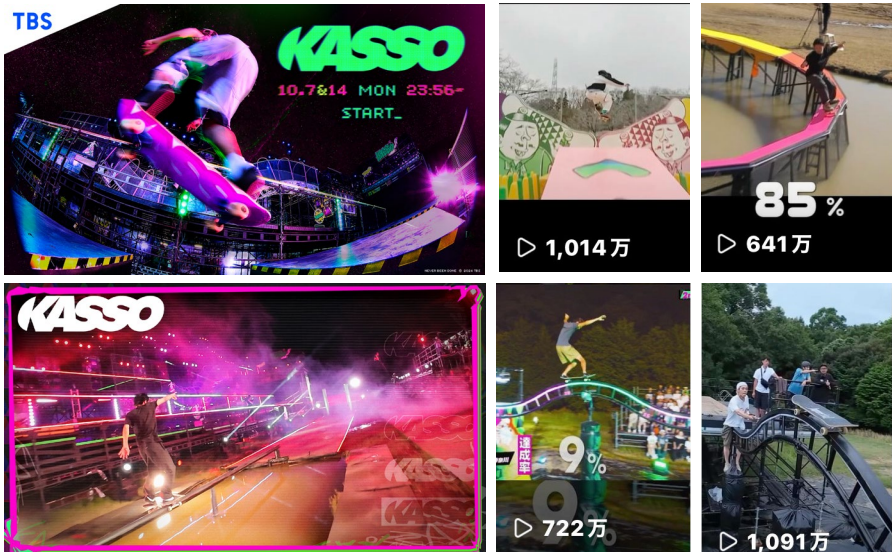
Instagram@kasso\_0318  
※X、YouTube、TikTokも展開中

スケボーをテーマにしたオリジナルブランド「KASSO」。

2024年10月7日、14日に第二弾の地上波番組を放送。YouTubeでは放送後に世界に向けてライブストリーミング配信を実施。

Instagramの公式アカウントでは再生回数1,000万回を超えるものもあり、若者を中心に高い人気を誇ります。

「SASUKE」が「American Ninja Warrior」として世界に羽ばたいたように、「KASSO」も「スケボー版SASUKE」として北米を中心にフォーマット販売に着手。今後はビジネスの幅を広げ、マーチャンダイジングやイベントなどのIP展開を計画中です。



## ゲームIP

番組由来のコンテンツのゲーム化のみならず、完全オリジナルゲームの企画も検討中。



TBS GAMES

## ヒトIP「Hi-Fi Un!corn」・「すとぷりnoりみっと」

2023年6月に世界デビューを果たした「Hi-Fi Un!corn (ハイ・ファイ・ユニコーン)」。  
2024年8月にリリースした1stアルバム「FANTASIA」はオリコンウィークリーチャート10位にランクイン。



YouTubeチャンネル登録者数300万人以上のすとぷりによる初の冠番組「全力挑戦！すとぷりnoりみっと-苺学園放送部-」を2024年5月より放送開始。  
番組から新たなVTuberグループをデビューさせる企画も進行中。



# IP戦略③ アニメ事業

週刊少年ジャンプ連載の話題作「アオのハコ」を2期連続で放送。海外で高い人気を誇る「地縛少年花子くん2」も1月に控える。今後は幹事作品を増やすほか、海外セールス体制も増強。松竹株式会社とは複数の企画開発が進行中。



「七つの大罪 黙示録の四騎士」  
第2期  
日曜 ごと4:30～  
(10月クール)  
©鈴木央・講談社/  
「七つの大罪 黙示録の四騎士」製作委員会



「地縛少年花子くん2」  
日曜 ごと4:30～  
(1月クール)  
日本語表記: ©あいだいろ/SQUARE ENIX  
・「地縛少年花子くん2」製作委員会



「アオのハコ」  
木曜 よる11:56～  
(10月・1月クール)  
©三浦糞・集英社・「アオのハコ」製作委員会



「さようなら竜生、  
こんにちは人生」  
木曜 深夜1:28～  
(10月クール)  
©永島ひろあき・アルファボリス/  
「さようなら竜生、こんにちは人生」製作委員会



「どうせ、恋してしまうんだ。」  
木曜 深夜1:28～  
(1月クール)  
©満井春香・講談社/  
アニメ「どうせ、恋してしまうんだ。」  
製作委員会



「トリリオンゲーム」  
木曜深夜1:58～  
(10月・1月クール)  
©稲垣理一郎・池上遼一/小学館/アニメ  
「トリリオンゲーム」製作委員会



「ダンダダン」  
木曜 深夜0:26～  
(10月クール: MBS)  
©龍幸伸/集英社・  
ダンダダン製作委員会



「悪役令嬢転生おじさん」  
木曜 深夜0:26～  
(1月クール: MBS)  
©上山道郎・少年画報社/  
悪役令嬢転生おじさん製作委員会・  
MBS



「シャングリラ・  
フロンティア  
2nd Season」  
日曜 ごと5:00～  
(10月・1月クール: MBS)  
©硬梨菜・不二涼介・講談社/  
「シャングリラ・フロンティア」  
製作委員会・MBS



「転生貴族、  
鑑定スキルで成り上がる  
第2期」  
日曜 よる11:30～  
(10月クール: CBC)  
©未来人A・講談社/  
鑑定スキルで成り上がる製作委員会



「『キン肉マン』  
完璧超人始祖編  
Season2」  
日曜 よる11:30～  
(1月クール: CBC)  
©ゆでたまご/集英社・キン肉マン  
製作委員会

2024年10月・1月クールでは週刊少年ジャンプの話題作「アオのハコ」を放送。

1月からは、北米を中心に海外でも高い人気を誇る「地爆少年花子くん2」も放送開始予定。

また、2025年4月クールでは、木曜よる11:56からの枠で、TBS初の幹事作品(共同)となる「ロックは淑女の嗜みでして」を放送することが決定するなど、2025年度以降、幹事作品が増えていく見込み。



「ロックは淑女の嗜みでして」  
木曜 よる11:56～  
(2025年4月クール  
TBS幹事で放送決定)  
©福田宏・白泉社/  
「ロックは淑女の嗜みでして」製作委員会

この3年間で、即戦力となるプロデューサーを中心に6人のキャリア採用を実施。数年後を見据えた魅力的なタイトルを獲得するなど、すでに成果が上がっている。同時に、海外セールス担当の人員も増員し体制を強化。

松竹株式会社とは、複数の企画開発が進行中。

グローバルビジネス元年。北米&韓国にビジネス拠点を開設。  
2026年度海外売上比率5%、2030年度海外売上比率10%を目指し、始動。

## TBS International

強みのあるフォーマットビジネスを中心に北米（LA）でのネットワーキングを通じてコンテンツプロバイダーとしてのTBSのプレゼンスを上げ、情報網、販売網を確立し、TBSアセット（商品）の流通網を形成し事業を拡大



SASUKE – NINJA WARRIOR



Takeshi's Castle



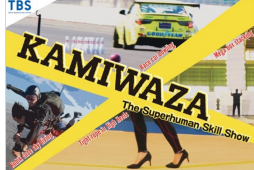
American's Funniest Video



KASSO



Kamiwaza: The Superhuman Skill Show



## TBS KOREA

韓国の制作・流通能力に習い、アジア中心の番販と共同制作によるコンテンツ開発で事業を拡大



3年で3本以上の地上波ドラマ、  
2本の劇場用映画の共同制作



バラエティ・フォーマット共同開発  
2025年2月のMIP Londonを目指す

事業パートナーを積極的に選定

M&A 企業投資  
コンテンツ投資  
事業連携 など

日本からもグローバルネットワークのハブとなり、ヨーロッパや東南アジア、インド、中東などへ、我々が生み出したアセット（商品）がスムーズにグローバル化できる世界流通装置を確立し、市場参入を図ります。

## TBS CROSS DIG

with Bloomberg

国内屈指のニュースメディアとなったNEWS DIGがグローバル展開を目指して、Bloombergと共同でビジネス特化型のハイブランドサイト、「TBS CROSS DIG with Bloomberg」を10月15日にスタート。

TBSとBloombergの認知・信頼を軸に、金融系の情報、AI・テクノロジーのほか、国際情勢、世界経済といったテーマを、“記者や専門家による高度なオリジナル解説動画”で深掘り、ビジネスパーソンの知りたい・学びたいというニーズに応えるコンテンツを充実させていきます。



チーフコンテンツオフィサーとしてPIVOTの創業メンバー、竹下隆一郎氏が就任。（TBSテレビ特任執行役員）



TBS CROSS DIG with Bloomberg 2024.10.26



TBS CROSS DIG with Bloomberg 2024.10.25



TBS CROSS DIG with Bloomberg 4時間前



Bloomberg 8時間前

# 映画・興行・催事 今後の主なラインナップ

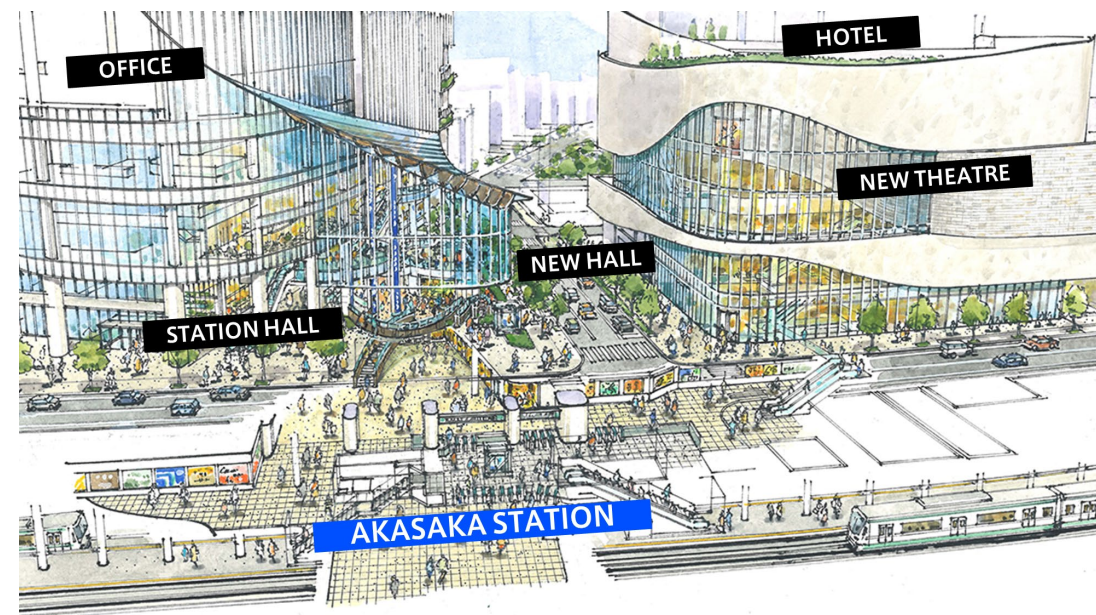
2024年11月8日 現在

	期間	タイトル	備考
映画	2024/11/29公開	「正体」	配給：松竹
	2024/12/30公開	「グランメゾン・パリ」	配給：東宝ほか
	2025/2/14公開	劇場版「トリリオンゲーム」	配給：東宝
	2025/3/20公開	「少年と犬」	配給：東宝
	2025/5/1公開	「たべっ子どうぶつ THE MOVIE」	配給：クロックワークス
	2025年公開予定	劇場版「TOKYO MER ~走る緊急救命室~南海ミッション」	配給：東宝
興行	2022/7/8~ロングラン	舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」	TBS赤坂ACTシアター
	2024/11/9~11/24	ミュージカル「ビリー・エリオット~リトル・ダンサー~」	SkyシアターMBS
	2024/11/20	WEST.お兄さんのうんぴょこ発表会	TBS赤坂BLITZスタジオ
	2024/11/23~12/8	熊川哲也 K-BALLET TOKYO Winter 2024 「くるみ割り人形」	Bunkamuraオーチャードホール
	2024/12/6~12/22 12/26~12/29	ヴェニス商人	日本青年館ホールほか
	2024/12/21~12/31	No.9 -不滅の旋律-	東京国際フォーラム ホールC
	2025/1/8	キングオブコントLIVE2024	LINE CUBE SHIBUYA (渋谷公会堂)
	2025/1/9~1/11	熊川哲也 K-BALLET TOKYO Winter 2025 「シンデレラ」	東京文化会館 大ホール
	2025/1/17~2/24	ミュージカル「ラブ・ネバー・ダイ」	日生劇場
催事	2025/3/11~6/8	展覧会「西洋絵画、どこから見るか？」 ールネサンスから印象派までサンディエゴ美術館 vs 国立西洋美術館	国立西洋美術館
	2025/6/7~6/22	EIKICHI YAZAWA 50th Year Memorial Exhibition 「俺たちの矢沢永吉」展	横浜赤レンガ倉庫 1号館

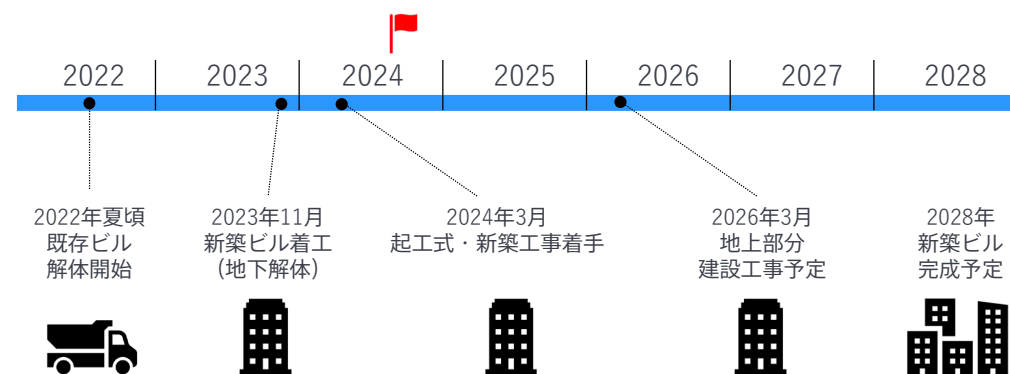
# 赤坂エンタテインメント・シティ



※ 青字部分は2028年竣工予定の再開発エリア (写真・イラストはイメージです。)



## 再開発エリアの工事スケジュール



# スタイリングライフグループのトピックス

## PLAZASTYLE

シーンやジェンダーにとらわれず、曖昧さを楽しむ  
新ウェアブランド「Lazy Styles」デビュー！

お家の中で着てもいいし、外で着てもいい。女性が着てもいいし、男性が着てもいい。誰かのために着てもいいし、自分のために着てもいい。

Lazy Stylesは、すべてを定めないその「曖昧さ」(=FUZZ-ISH)を楽しむブランドです。ルームウェアやワンマイルウェアなど既存カテゴリーの枠を超えて、何気ない日常のLAZYな時間にも新たな価値を生み出す、最旬のストリートスタイルを提案します。今回ファーストコレクションとして、Tシャツ、スウェットトップスなど計46種類のアイテムをラインアップ。アイテムは、公式ECサイトおよび今後出店するPOP UP STOREにてご購入いただけます。

<https://www.lazy-styles.com/>



あなたの街にPLAZAがやってくる！

PLAZA  
RINKU  
PREMIUM  
OUTLETS  
**OPEN**  
2024.9.27 FRI.

PLAZA  
IIAS  
TAKAO  
**OPEN**  
2024.10.4 FRI.

PLAZA  
SHAMINE  
MATSUE  
**OPEN**  
2024.10.11 FRI.

PLAZA  
TENJIN  
CHIKAGAI  
**OPEN**  
2024.10.25 FRI.

PLAZA  
HANEDA Airport  
Terminal 1  
**RENEWAL  
OPEN**  
2024.11.8 FRI.

**PLAZA 三井アウトレットパーク マリンピア神戸店**

出店場所 兵庫県神戸市 三井アウトレットパーク マリンピア神戸 2F  
オープン日 2024年11月26日(火) グランドオープン予定



イーアス高尾店



# やる気スイッチグループのトピックス

## 教室数および生徒数推移

### 教室数推移

2023年8月末時点  
**2,312 校**

2024年8月末時点  
**2,419 校**

### 生徒数推移

2023年8月末時点  
**132,707 名**

2024年8月末時点  
**133,020 名**

## TBSとのシナジー発揮



▲ 6月開催 テレビユー福島主催スポーツイベント



▲ 8月開催 チューリップテレビ主催スポーツイベント

### JNN系列局のFCオーナー化について

テレビユー福島による忍者ナイン4ラボを、2024年7月福島市内に開校、また、チューリップテレビも、忍者ナイン4ラボを、2024年10月富山市内に開校しました。各テレビ局はスポーツイベントを開催し、忍者ナインなどの体験会を実施しました。

## 新規開校状況 (2024年3月～)



2025年2月期  
累計開校件数  
**11 校開校** ※1

### 6月開校

- 直営 初台校(東京)
- FC 玉村校(群馬) etc.

### 7月開校

- 直営 桜新町用賀校(東京)
- FC 我孫子天王台校(千葉) etc.



2025年2月期  
累計開校件数  
**5 校開校**

### 6月開校

- FC 静岡駅前校(静岡)
- FC 荒江校(福岡)

### 7月開校

- 直営 松戸校(千葉)
- FC 守谷校(茨城)



2025年2月期  
累計開校件数  
**5 校開校**

### 6月開校

- FC 多摩センター(東京)
- FC 成田(千葉) etc.

### 8月開校

- 直営 HARUMI FLAG(東京)



2025年2月期  
累計開校件数  
**26 ラボ開校**

### 6月開校

- FC 八尾ラボ(大阪)
- FC 加東(兵庫) etc.

### 7月開校

- FC 深江ラボ(兵庫)
- FC TUF福島駅前ラボ(福島) etc.

### 8月開校

- FC 箕面萱野ラボ(大阪)
- FC 名取ラボ(宮城) etc.



2025年2月期  
累計開校件数  
**17 拠点開講** ※2

### 6月開校

- YPFC 香芝自動車学校(奈良)
- YPFC 栗原幼稚園座間校(神奈川) etc.



▲ 6月開校 IE 初台校



2025年2月期  
累計開校件数  
**5 園開園**



2025年2月期  
累計開校件数  
**3 園開園**



▲ 8月開校 KD HARUMI FLAG

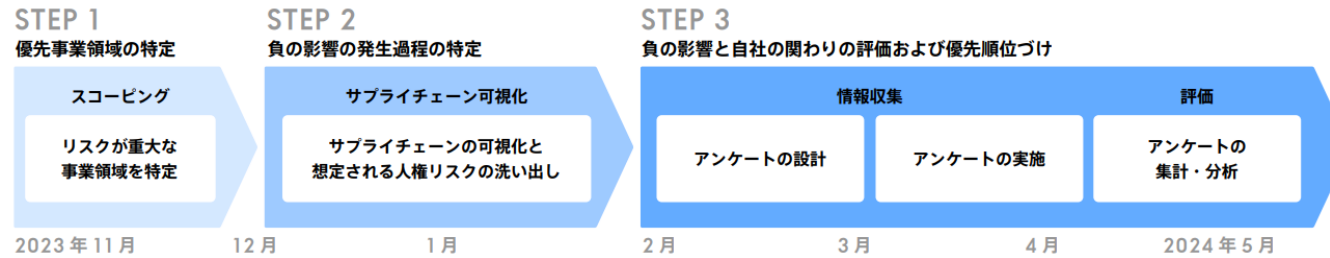
※1 海外教室除く

※2 プログラミング教室『HALLO』の開校件数は(株)YPスイッチの直営およびFC(他塾展開)の開講数のみをカウント

# ESGの取り組みと外部評価

2024年4月に「人権DD（デュー・ディリジェンス）アンケート」を実施。回答を集計・分析し、代表的な6つの人権リスクの存在を認識。特にどの過程でリスクが高まるかの認識を共有することで、より健全な制作環境の構築を目指します。

人権DDアンケートを2024年4月10日～26日に実施。2022年度の取引高上位社を中心としたコンテンツ制作パートナー152社を対象としました。



6つの人権リスク→「長時間労働・労働環境リスク」「ハラスメント」「働く人に正当な報酬が支払われないリスク」「権利者、出演者の人権侵害リスク」「出演者らの事故安全リスク」「コンテンツ内容による人権侵害」  
→どの過程でリスクが高まるかの認識を共有し、健全な制作環境の構築を目指します。

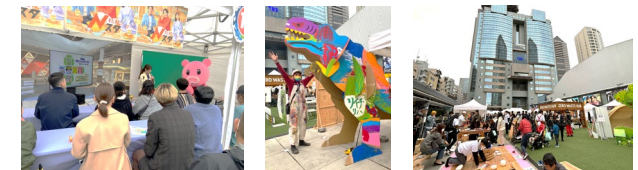
	企画・構成	制作	放送・配信	視聴
① 長時間労働・労働環境リスク	■ 当社グループおよび、制作・協力会社	■ 当社グループおよび、制作・協力会社、出演者、所属事務所	■ 当社グループおよび、制作・協力会社	
② ハラスメント	■ 当社グループおよび、制作・協力会社、出演者、所属事務所	■ 当社グループおよび、制作・協力会社、出演者、所属事務所	■ 当社グループおよび、制作・協力会社、出演者、所属事務所	
③ 働く人に正当な報酬が支払われないリスク	△	■ 制作・協力会社	△	
④ 権利者、出演者の人権侵害リスク	■ 出版社・原作者 (著作権者人格権)	■ 出版社・原作者 (著作権者人格権)	■ 出演者、所属事務所 (名誉・プライバシー)	
⑤ 出演者らの事故安全リスク		■ 出演者、所属事務所、制作会社、協力会社	△	
⑥ コンテンツ内容による人権侵害		△	△	■ 視聴者を含む第三者への人権侵害

■ : 人権リスクが高いと考えられる箇所とリスク内容 △ : 人権リスクはあるが、比較的低いと考えられる箇所



## 「地球を笑顔にする広場 24秋」開催

2020年秋から毎年春・秋にSDGsキャンペーン「地球を笑顔にするWEEK」を実施。これに連動し、家族みんなで楽しめる体験型SDGsイベント「地球を笑顔にする広場」を2024年11月9日（土）・10日（日）の2日間開催。



2024年度 第2四半期（中間期）決算ハイライト

2024年度 業績見通し

株主還元

経営計画の進捗

今後の重点施策

▶ **参考資料**

# 連結貸借対照表

	2024年 3月末	2024年 9月末	比較		2024年 3月末	2024年 9月末	比較	単位: 百万円
流動資産	154,399	180,244	+25,844	流動負債	94,993	92,895	△2,097	
				固定負債	322,564	255,735	△66,829	
				負債合計	417,557	348,630	△68,926	
固定資産	1,413,105	1,196,035	△217,069	自己資本	1,137,659	1,014,314	△123,344	
				非支配株主持分	12,287	13,335	+1,047	
				純資産合計	1,149,947	1,027,649	△122,297	
資産合計	1,567,504	1,376,280	△191,224	負債 純資産 合計	1,567,504	1,376,280	△191,224	

中間期末有利子負債残高 35 億円 (前期末比 △2億円)

※ リース債務は除く

# 連結キャッシュフロー

	2023年度 中間期(4-9月)	2024年度 中間期(4-9月)	前年差	単位: 百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,577	8,268	△4,309	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,264	17,584	+67,849	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,917	△2,300	+13,617	
現金及び現金同等物の増減額	△53,476	23,647	+77,123	
現金及び現金同等物の期首残高	97,589	43,698	△53,890	
現金及び現金同等物の期末残高	44,112	67,345	+23,233	

# LTV4-59視聴率(4-59歳)

(※ [ ]内は前年差 単位：%)

	全日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
<b>TBS</b>	②1.8[0.0]	②3.5 [+0.1]	②3.3 [△0.1]	③1.3 [△0.1]
日本テレビ	①2.7	①4.6	①4.3	①2.3
テレビ朝日	④1.5	④2.6	④2.7	④1.1
テレビ東京	⑥0.6	⑥1.7	⑥1.5	⑥0.3
フジテレビ	②1.8	③3.0	③2.9	②1.4
NHK	⑤1.1	⑤2.2	⑤1.9	⑤0.8
PUT	10.7[△0.4]	19.5 [△0.8]	18.5[△0.9]	8.4 [△0.4]

(2024/4/1 ~ 2024/9/29 : 週ベース)

(ビデオリサーチ調べ：関東地区)

# 個人全体視聴率 (ALL)

(※ [ ]内は前年差 単位：%)

	全日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
<b>TBS</b>	④2.7[+0.1]	④4.2 [+0.2]	④4.0 [0.0]	④2.3 [+0.1]
日本テレビ	②3.3	①5.1	②4.8	②2.9
テレビ朝日	①3.4	③5.0	①5.0	①3.0
テレビ東京	⑥1.1	⑥3.0	⑥2.6	⑥0.7
フジテレビ	⑤2.2	⑤3.4	⑤3.3	⑤1.9
NHK	③2.9	①5.1	③4.5	③2.5
PUT	18.7[△0.1]	30.6 [△0.3]	28.5[△0.4]	15.9 [0.0]

(2024/4/1 ~ 2024/9/29 : 週ベース)

(ビデオリサーチ調べ：関東地区)

# タイム・スポット収入対前年比

単位：  
百万円

	タイム			スポット				備考
	2024年度	前年差	増減率	2024年度	前年差	増減率	地区投下 (推計)	
4月	6,890	△339	△4.7%	7,100	△100	△1.4%	△1.5%	
5月	6,408	+27	+0.4%	6,350	△138	△2.1%	△1.4%	
6月	6,988	+933	+15.4%	6,061	+109	+1.8%	+3.2%	タイムは、「バレーボールネーションズリーグ」で、増収。
7月	6,439	+50	+0.8%	6,572	+302	+4.8%	+5.1%	
8月	7,219	△343	△4.5%	5,339	+334	+6.7%	+4.1%	
9月	6,055	△885	△12.8%	6,391	+1,101	+20.8%	+11.1%	タイムは前年の「アジア大会」の反動減。スポットは反動増。
10月								
11月								
12月								
1月								
2月								
3月								
1Q	20,287	+621	+3.2%	19,512	△129	△0.7%	△0.1%	
2Q	19,714	△1,178	△5.6%	18,302	+1,737	+10.5%	+6.8%	
3Q								
4Q								
通期	40,001	△557	△1.4%	37,815	+1,608	+4.4%	+3.1%	

スポットの中間期での5局シェアは21.1%と大きく伸長。中間期での21%超えは2008年度以来16年ぶり。

スポット5局シェア (推計) 四半期推移

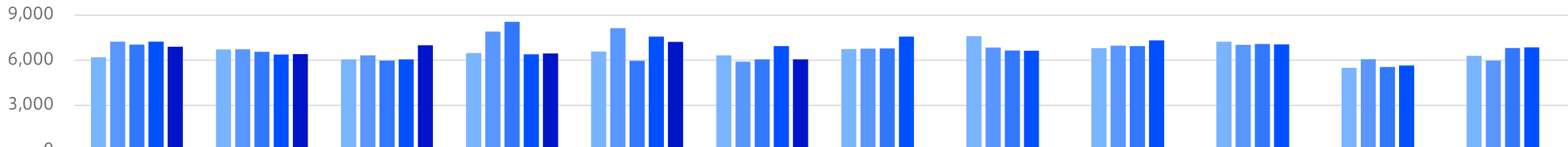
2020年度 19.7% (累計)				2021年度 20.1% (累計)				2022年度 20.6% (累計)				2023年度 20.5% (累計)				2024年度 21.1% (累計)			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
20.5	20.2	19.4	19.3	20.4	20.3	19.7	20.0	21.2	20.6	20.9	19.6	20.9	20.6	20.2	20.1	20.8	21.4		



# タイム・スポット収入 経年推移

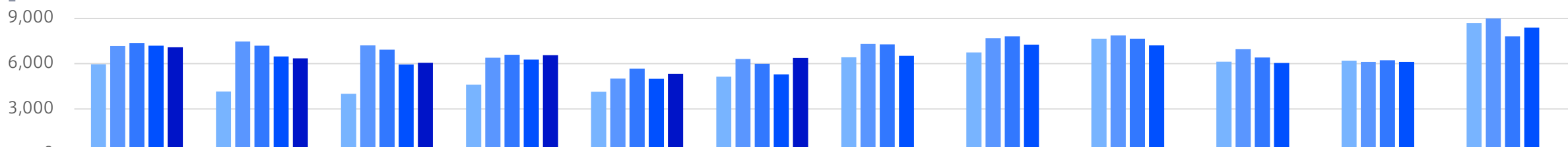
タイム収入

単位：百万円



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年度	6,197	6,716	6,051	6,468	6,577	6,321	6,739	7,593	6,794	7,231	5,488	6,287
2021年度	7,230	6,727	6,320	7,896	8,130	5,903	6,770	6,842	6,961	7,013	6,071	5,963
2022年度	7,036	6,560	5,968	8,541	5,953	6,048	6,776	6,646	6,939	7,080	5,552	6,810
2023年度	7,229	6,380	6,055	6,388	7,563	6,941	7,559	6,621	7,314	7,047	5,640	6,848
2024年度	6,890	6,408	6,988	6,439	7,219	6,055						

スポット収入



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年度	5,969	4,161	4,000	4,603	4,146	5,138	6,431	6,745	7,655	6,137	6,197	8,693
2021年度	7,164	7,471	7,229	6,400	5,005	6,318	7,307	7,681	7,883	6,972	6,119	9,005
2022年度	7,380	7,200	6,927	6,596	5,669	5,991	7,282	7,808	7,660	6,406	6,224	7,819
2023年度	7,201	6,488	5,951	6,270	5,004	5,289	6,526	7,260	7,218	6,042	6,120	8,403
2024年度	7,100	6,350	6,061	6,572	5,339	6,391						

# 業種別スポット売上順位

単位：%

	2024年度 中間期(4-9月)	増減率	シェア	2023年度 中間期(4-9月)	増減率	シェア
1	情報・通信・放送	△3.3	15.6	情報・通信・放送	△8.6	16.9
2	酒・飲料	+6.3	12.1	酒・飲料	△6.8	11.9
3	食品	+7.2	8.7	食品	△7.5	8.5
4	外食・サービス	+3.1	8.0	外食・サービス	△26.4	8.1
5	交通・レジャー	+10.4	6.6	医薬品	△3.9	7.1
6	化粧品・トイレットリー	+17.4	6.4	交通・レジャー	+23.9	6.2
7	医薬品	△7.1	6.4	化粧品・トイレットリー	+12.5	5.7
8	金融	+2.6	5.0	金融	△9.0	5.1
9	不動産・建設	+26.3	4.9	エンターテインメント・趣味	+10.8	4.9
10	自動車・輸送機器	+39.3	4.5	不動産・建設	△15.3	4.1

※ 順位は金額順

## メディア・コンテンツ/不動産・その他(1社)

(株) TBSテレビ

## メディア・コンテンツ(15社)

(株) TBSラジオ

(株) BS-TBS

(株) CS-TBS

(株) TBSスパークル

(株) TBSグローディア

(株) TBSアクト

(株) Seven Arcs

TCエンタテインメント (株)

TBS International, Inc.

(株) TBSメディア総合研究所

(株) 日音

(株) マンガボックス

(株) THE SEVEN

Bellon Entertainment Inc.

TBS KOREA, INC.

## ライフスタイル(6社)

(株) スタイルングライフ・ホールディングス

(株) CPコスメティクス

(株) やる気スイッチグループホールディングス

(株) やる気スイッチグループ

(株) やる気スイッチキャリア

(株) YPスイッチ

## 不動産・その他(5社)

赤坂熱供給 (株)

(株) TBS企画

(株) TBSサンワーク

(株) TBSヘクサ

(株) 緑山スタジオ・シティ

## 持分法適用(6社)

(株) リトプラ

(株) WOWOW

(株) Amazing Sports Lab Japan

(株) YGC

(株) U-NEXT

台湾拓人教育事業股份有限公司